

# 令和4年度「中小企業・小規模事業者支援サイトの 経営課題解決促進の実証研究事業」 報告書

令和5年3月  
チームラボ株式会社



# 目次

1. 事業目的
2. 開発内容
  - a. 全体概要
  - b. ミラサポコネク ト データベース
    - ミラサポDB
    - ミラサポAPI
    - CSVアップロード機能
  - c. ミラサポコネク ト ウェブサイト構築
    - ミラサポフロント(外部向け機能)
      1. 事業者向け機能
      2. 支援者向け機能
    - 管理画面
    - 内部向け機能
      1. 事業者検索
      2. EBPM
      3. メール配信
3. 次年度開発の展望

# 目次

- 4. 推進事業の内容
- 5. 次年度以降に向けた推進事業のご提案

## Appendix (※)

- 1. 調査全体
- 2. ニーズ調査①（事前調査）
- 3. ニーズ調査②（プロトタイプ検証）

# 1. 事業目的

# 事業目的

経済産業省では、各支援機関(商工会・商工会議所・よろず支援拠点等)と協力して、全国の中小企業・小規模事業者の経営相談を行うとともに、ミラサポplusというオンライン上のサイトでも、積極的に施策の紹介、サポートを行っている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従来の系列的取引に基づく市場は急速に縮小しており、多くの中小企業が、コロナ禍への対応や、事業の再構築に早急に取り組まねばならない状況に追い込まれている。

現在の経営サポート体制だけでは、358万者いるといわれる中小企業のコロナ禍への対応や事業再構築をケアするのは不可能に近い。このため、中小企業庁が自ら、中小企業が活用できる販路支援ビジネス、技術や人材の紹介・斡旋ビジネス、投資家など、様々な経営支援ビジネスと積極的に官民連携し、経営者に課題解決の手段を、より様々な形で提供していくことが急がれる。

このため、中小企業庁の施策の紹介のみならず、ミラサポplusの機能を大幅に拡張するプロトタイプを構築し、中小企業庁及び外部の保有する中小企業や支援者のデータを活用して、中小企業の経営課題解決や政策立案等を促進する仕組み(ミラサポConnect)を構築することを目的とする。

## 2. 開発内容

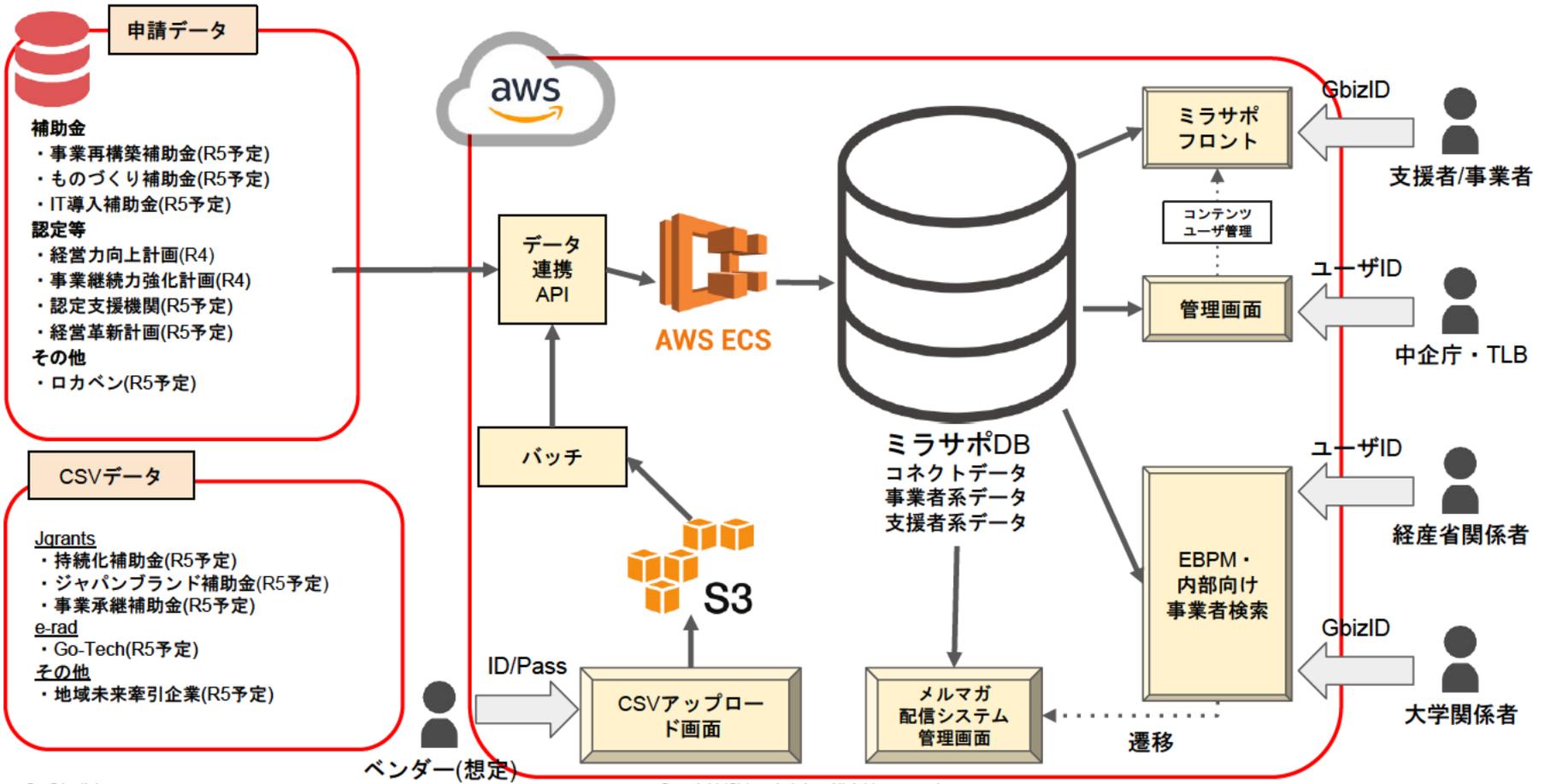
## 2.a. 全体概要



### 開発機能一覧

機能名	用途	ユーザ
ミラサポ フロント	支援者・事業者の情報検索をする 支援者と事業者同士のマッチングをする	中小企業経営者（エンドユーザ） 支援者（エンドユーザ）
管理画面	ミラサポフロントのユーザとコンテンツの管理をする	中企庁職員
EBPM	EBPM向けの補助金申請データのCSVダウンロードをする	大学関係者
事業者検索	補助金・認定申請データを事業者から検索し、閲覧と印刷する	経産省職員
メルマガ管理	ミラサポユーザにメールを配信する	中企庁職員
ミラサポAPI	申請データをミラサポDBに取り込む 申請データを持つシステムのリクエストにより取り込まれる	補助金/認定等申請データ管理ベンダー
データアップロード	CSVファイルをアップロードすると、 ミラサポAPI経由でミラサポDBに申請データを取り込まれる	補助金/認定等申請データ管理ベンダー

# システム構成



事業者・支援者

データ連携

行政機関

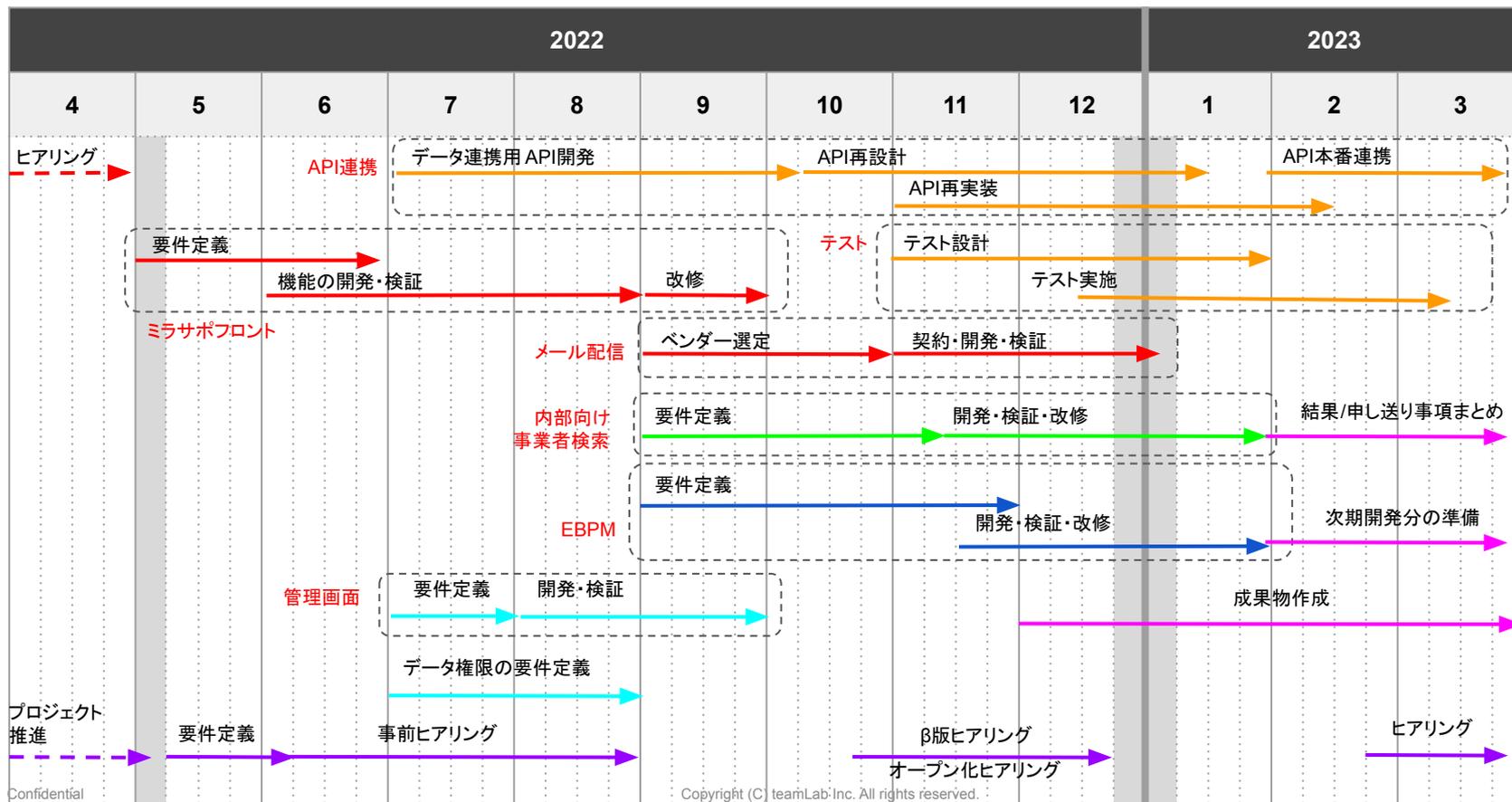
ユーザ管理

EBPM

推進

その他

## スケジュール



## 2.b. ミラサポコネクト データベース

ミラサポAPIを用いて補助金や認定の申請データを蓄積する。

今期の開発内容は以下の3つからなる。

- ミラサポDB
- ミラサポAPI
  - 経営力向上計画API
  - 事業継続力強化計画API
- CSVアップロード機能

## ミラサポDB

ミラサポDBに蓄積されるデータは以下の3種に分けられる。

- **コネク トデータ**  
ミラサポフロントの登録の際にユーザが入力するデータとミラサポフロント用マスターデータ
- **事業者データ**  
補助金、計画を中心とした事業者の申請データ
- **支援者データ**  
補助金、計画を中心とした支援者の申請データ

## ミラサポAPI

各補助金申請データをデータベースに取り込むため、ミラサポAPIを構築した。  
複数の制度で共通的に使用される事業者データや申請データは共通項目とし、  
各種申請制度内の個別で存在する項目は独自項目としてリクエストパラメータが用意される。

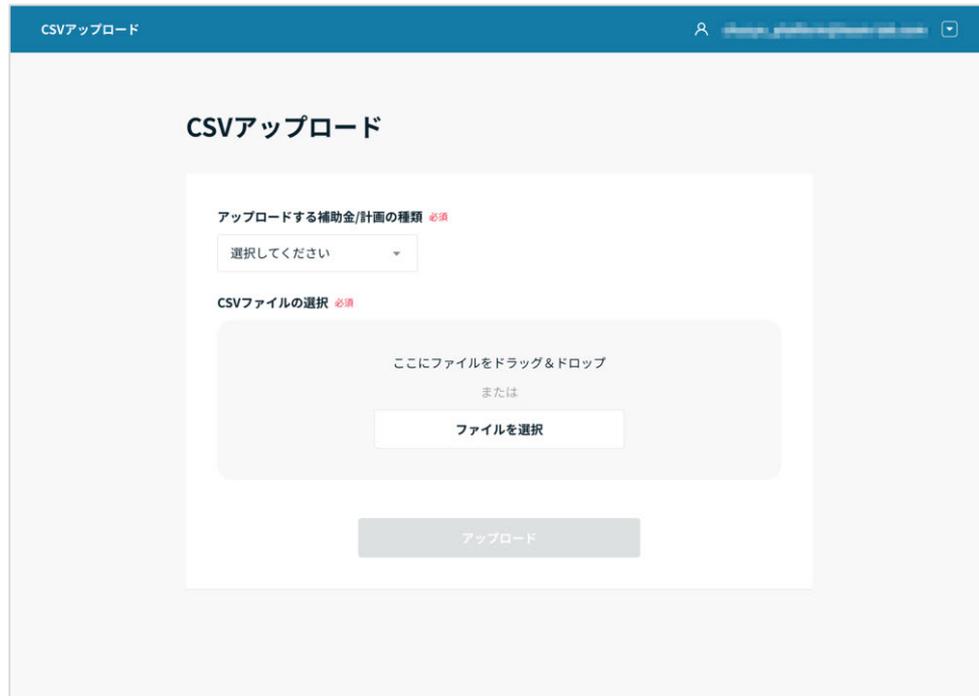
以下の2申請システムとのAPI疎通が完了した。

- 経営力向上計画
- 事業継続力強化計画

その他申請システムとの連携は次年度以降を想定している。

## CSVアップロード機能

- 申請システムから直接APIリクエストができず、CSVファイルが出力可能な場合に、手動で申請データをアップロードするための機能
- アップロード後はミラサポAPIを用いてミラサポDBに格納予定
- ミラサポAPIを用いてアップロードする機能は次年度以降の実装を想定



The screenshot shows a web interface for CSV upload. At the top, there is a blue header with the text "CSVアップロード" and a user profile icon. The main content area is titled "CSVアップロード" and contains two required fields:

- アップロードする補助金/計画の種類 必須**: A dropdown menu with the text "選択してください".
- CSVファイルの選択 必須**: A large light gray box containing the text "ここにファイルをドラッグ&ドロップ" and "または", with a button labeled "ファイルを選択".

At the bottom of the form is a large gray button labeled "アップロード".

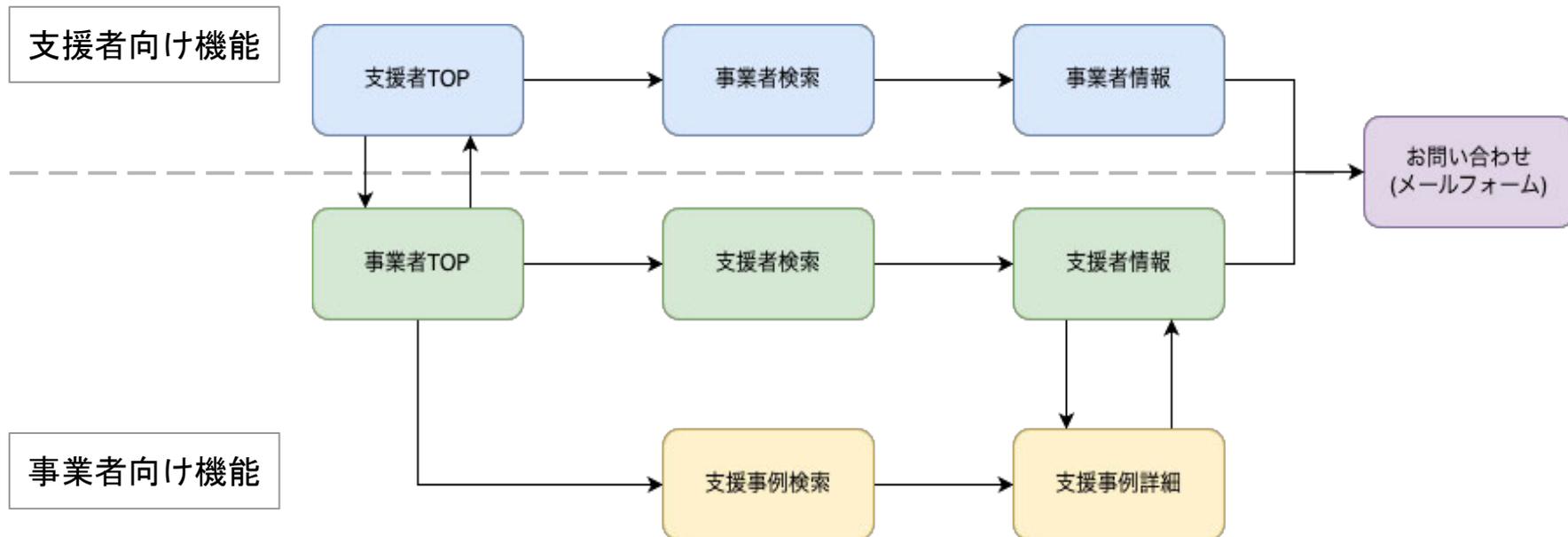
## 2.c. ミラサポコネクト ウェブサイト構築

### 開発サービス一覧

サービス名	用途	ユーザ
ミラサポフロント	支援者・事業者の情報検索をする 支援者と事業者同士のマッチングをする	中小企業経営者（エンドユーザ） 支援者（エンドユーザ）
管理画面	ミラサポフロントのユーザとコンテンツの管理をする	中企庁職員
EBPM	EBPM向けの補助金申請データのCSVダウンロードする	大学関係者
事業者検索	補助金・認定申請データを事業者から検索し、閲覧と印刷する	経産省職員
メルマガ管理	ミラサポユーザにメールを配信する	中企庁職員

## ミラサポフロント (外部向け機能)

- 支援者・事業者が相互に検索し、それぞれの情報を閲覧する。
- コンタクトをとりたい場合は、フォームから問い合わせをする事でメールが送られる。
- 以降はメールでコミュニケーションを行うことを想定する。



## 事業者向け機能

- 事業者が条件に合わせて支援者を検索し、興味を持った支援者に対し、フォーム経由でメールをし、問い合わせをする。
- 事業者が支援者の支援事例を検索、表示しお問い合わせの参考にする。
- 支援者が事業者を検索するための自社情報の登録・編集を事業者が行う。

## 支援者向け機能

- 支援者が条件に合わせて事業者を検索し、興味を持った事業者に対し、フォーム経由でメールをし、問い合わせをする。
- 事業者が支援者を検索するための  
自社情報と支援事例の登録・編集を支援者が行う。

# 管理画面

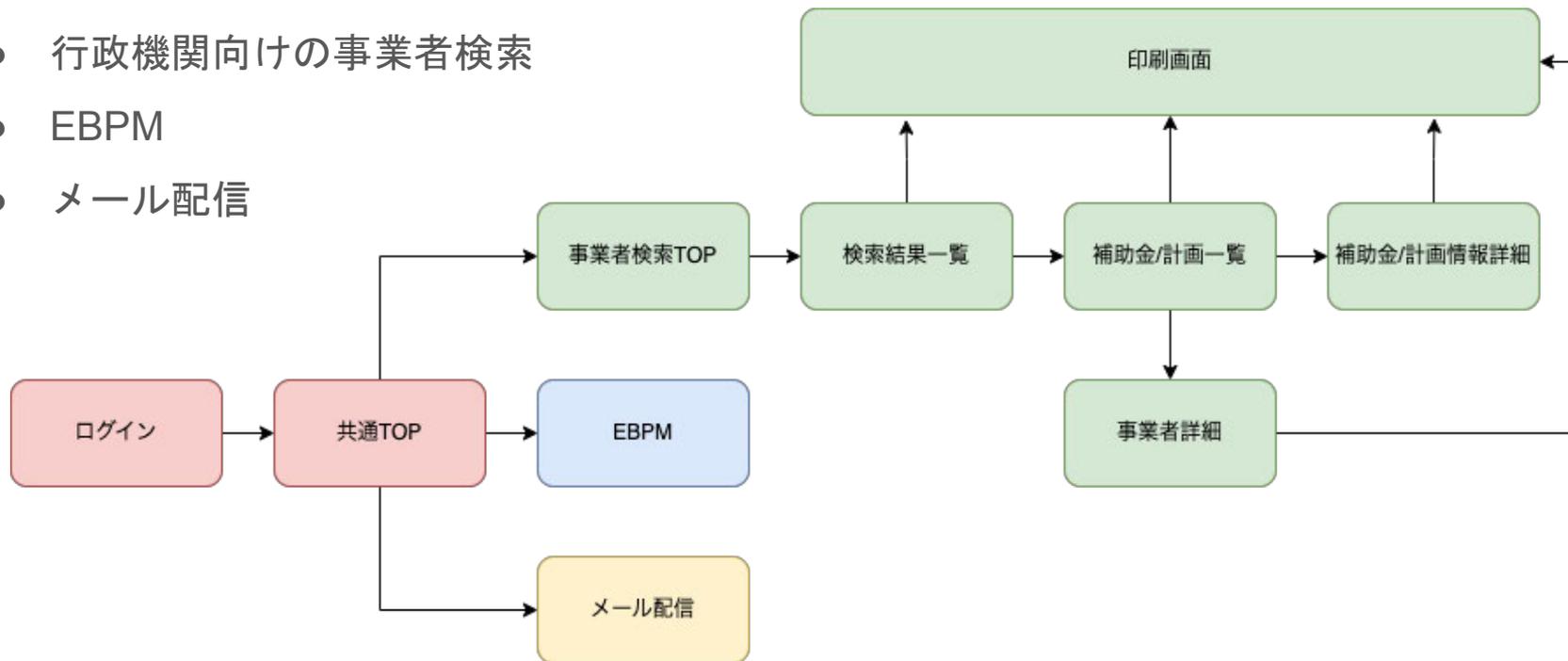
ミラサポフロントの管理を行う。  
 ユーザーとコンテンツの管理機能を実装した。  
 それぞれの機能は以下の通り。

- ユーザの管理
  - ユーザ情報を表示する。
  - ユーザ情報のCSVをダウンロードする。
  - ブロックユーザを管理する。
- コンテンツ管理
  - 検索サジェストの内容を管理する。
  - お知らせの管理をする。

## 内部向け機能

以下の3種類の機能からなる。

- 行政機関向けの事業者検索
- EBPM
- メール配信



## 内部向け機能

ユーザに応じて、  
使用できる機能に制限がある。

ログイン情報に紐づいたユーザ属性に応じて共通TOPの表示が変化する。

	事業者検索	EBPM	メール配信
中企庁 メール配信 担当者	○	○	○
経済産業省 職員	○	○	×
大学等の 研究者	×	○	×

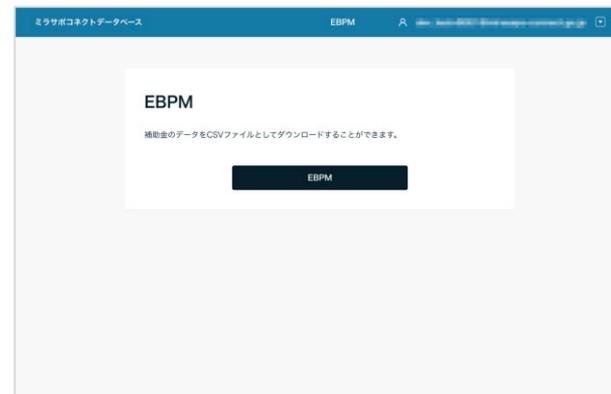
○: 利用可 ×: 利用不可



中企庁メール配信担当者



経済産業省職員



大学等の研究者

## 事業者検索

- 経済産業省職員向けである。
- データ連携によってミラサポDBに格納された事業者情報と申請情報を検索・閲覧・印刷できる。

ミラサポコネクトデータベース
事業者検索
EBPM
メールマガジン
🔍

### 事業者検索

フリーワード検索

法人活動情報  法人活動情報あり

種別  法人

株式会社
  有限会社
  合資会社
  合名会社
  合同会社
  その他の設立登記法人

個人事業主

業種  全ての業種

農業、林業
  漁業
  鉱業、採石業、砂利採取業
  建設業
  製造業
  電気・ガス・熱供給・水道業
  情報通信業
  運輸業、郵便業
  卸売業・小売業
  金融業・保険業
  不動産業、物品賃貸業
  学術研究、専門・技術サービス業
  宿泊業、飲食サービス業
  生活関連サービス業、娯楽業
  教育、学習支援業
  医療、福祉
  複合サービス事業
  サービス業（他に分類されないもの）
  公職（他に分類されるものを除く）
  分類不能の産業

所在地  全国

北海道・東北
  北海道
  青森県
  岩手県
  宮城県
  秋田県
  山形県
  福島県
  関東
  茨城県
  栃木県
  群馬県
  埼玉県
  千葉県
  東京都
  神奈川県
  北陸
  新潟県
  富山県
  石川県
  福井県
  中部
  山梨県
  長野県
  岐阜県
  静岡県
  愛知県
  近畿
  三重県
  滋賀県
  京都府
  大阪府
  兵庫県
  奈良県
  和歌山県
  中国
  鳥取県
  島根県
  岡山県
  広島県
  山口県
  四国
  徳島県
  香川県
  愛媛県
  高知県
  九州・沖縄
  福岡県
  佐賀県
  長崎県
  熊本県
  大分県
  宮崎県
  鹿児島県
  沖縄県

市区町村  市区町村

売上高

従業員数

設立年数

補助金/計画  全ての補助金/計画

事業再構築補助金
  ものづくり補助金
  経費力向上計画認定
  事業継続力強化計画
  IT導入補助金
  経営革新計画

- 詳細検索を閉じる

クリア
検索

# EBPM

- APIでデータ連携した補助金データを絞り込み、EBPMとして利用可能なデータのみをCSVファイルで出力する。
- 今年度は補助金実データ連携前のためサンプルファイルが出力される。



The screenshot shows a web application interface with a blue header bar containing navigation links: "ミラサポコネク トデータベース", "事業者検索", "EBPM", and "メールマガジン". A search icon and a dropdown menu are also present in the header.

### CSV出力する補助金を選択

**補助金選択 必須**

IT導入補助金

**公募回選択 必須**

<input checked="" type="checkbox"/> 通常枠(A類型)	公募年/回	選択してください
<input checked="" type="checkbox"/> 通常枠(B類型)	公募年/回	選択してください
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティ対策推進枠	公募年/回	選択してください
<input checked="" type="checkbox"/> デジタル化基盤導入枠(デジタル化基盤導入類型)	公募年/回	選択してください

CSVダウンロード

## メール配信

- ユミルリンク社のCuenote FCを導入した。
- 開発環境ライセンスでの実装が完了している。

# 3. 次年度開発の展望

## データ連携

今期実装したミラサポAPIを基に、連携する補助金/認定申請データの数を増やす。

想定する申請システムは以下の通り。

### 補助金

- 事業再構築補助金
- ものづくり補助金
- IT導入補助金

### Jgranats(補助金)

- 持続化補助金
- ジャパンブランド補助金
- 事業承継補助金

### e-rad(補助金)

- Go-Tech

### 認定等

- 認定支援機関
- 経営革新計画

### その他

- ロカベン(ミラサポPlus)
- 地域未来牽引企業

## ミラサポフロント

- デジタル庁デザインシステムに合わせた画面の改修をする。
- ターゲットユーザを事業者と支援者から、事業者と投資家へと変更する。
  - 現状の機能を踏襲した上での改善を行う。
  - 事業者と投資家のユースケースに合わせたUIの改善を行う。

## 内部向け機能

- 事業者検索
  - 追加データの実装、ユーザニーズに合わせたUIの改善をする。
- EBPM
  - 実データに応じたエクスポート機能の実装をする。
- メール配信
  - 本番環境の構築とオプトアウトの自動連携機能を実装する。

# 4. 推進事業の内容

## 1) ミラサポコネクトプロトタイプの調査概要

データ項目のニーズ事前調査やミラサポコネクトプロトタイプを活用したユーザーアンケート調査※を実施し、今後ミラサポコネクトで提供されるサービスの在り方を検討した。

※調査詳細はAppendixに掲載。

## 2) エグゼクティブサマリー

### 1. 補助金申請データや専門家のデータの蓄積が進んだ場合

以下のような用途で中小企業支援を活性化できるのではないか

A：事業者がその課題に併せて、支援者（専門家）を検索して支援を依頼する

B：支援者（専門家）がその専門分野にマッチする課題を持つ事業者を検索して支援を提案する

C：その他の用途でデータの活用ができないか

### 2. ヒアリング調査からわかった課題と解決方法

#### ①全体として、認知度や操作性・有用性を高める必要性

- ・補助金や経営相談の支援者・支援機関を検索できる「ミラサポプラス」はほぼ認知されていない。
- ・事業者がミラサポプラスを触ってみても、使いづらい、わかりづらいという意見が多い。
- ・ネットを使っている人は使うけど、使っていない人は使わない、年代というより本質はデジタルデバインドが存在  
解決方法としては、ユーザーの声を聞きながらインターネットに不慣れな利用者也想定したUI/UXを実現したり  
継続的かつ効果的な広報活動を行なうことが必要である。

## 2) エグゼクティブサマリー

### 2. ヒアリング調査からわかった課題と解決方法

#### ②A/Bに関して、リアルの世界で重視される信頼性をデジタルで実現する必要性

- ・日常的にインターネットを使っていない人はリアルな信頼できる人から実績のある人を紹介してもらうなど、地域ネットワークを活用している。（アナログな照会/紹介）
- ・ネットを使わない事業者や支援者がミラサポコネクトを使ってもデータ自体に信頼感を持っていない。
- ・デジタル/アナログとともに、支援者の信用をどう担保するか、支援者の評価や実績の可視化と関連付ける必要がある

#### ③解決方法として

「支援者の実績」「人となり」「他者評価（口コミ、星によるレーティング）」など信用を可視化し分かりやすく表示する利用者がWEB上で判断できることが理想的。中小企業のあらゆる課題を解決するのではなく、投資促進・融資促進など、需要がありかつ限定的な目的でのデータ活用から模索するとよいとの方向性を探る必要がある。

# 5. 次年度以降に向けた 推進事業のご提案

# 1) 次年度以降の活動計画

## 1. 次年度以降の活動計画

- ・新しい資本主義経済を迎えるにあたり、現状の中小企業施策の課題解決に向けた方向性を探る
- ・新しい資本主義の重点領域である「人」の流動性とワーク・ライフ両面での質の向上を実現する
- ・補助金の支援だけでなく「民間」による「人」と「金」にフォーカスした経済財政運営改革を推進する
- ・新しい社会的価値に見合った支援の仕組みと変化する課題に継続的に対応できる取組みにより実現する

## 2. 新たなビジネスが生み出される支援機関（金融機関）の取込

- ・中小企業の施策の具体策にあらたな付加価値を持たせ、計画作りから実施まで支援する
  1. 新たな社会性・継続性などの事業の育成（起業サポート・支援金申請できる）
  2. 副業リソースを含む人材への積極的な投資（中央・地域間での人材交流ができる）
  3. デジタル技術への積極的な投資（開発リソースを開発者・IT会社が登録・提供できる）

## 2) 事業における推進プロジェクトに関して

### 1. 令和5年ミラサポコネクトの開発と推進

- ・新たな支援者の登録と検索、マッチングの新たな入り口のデザインとデータAPI連携の開発
- ・金融機関・M&A・投資家と中小企業のマッチングサービスのデータ・機能などのヒアリング
- ・あらたな利用者、投資家と事業社のマッチングシステムにおける法的リスク調査検証
- ・利用規約や反則者の報告機能など運用までを弁護士含めてリスク検証の必要あり
- ・登録者の人となりの情報WEB上でもある程度入力出来てコンタクトして財務や戦略情報の交換を行う
- ・支援者が経営にどう影響を与えたという評価の可視化と追跡システムの可能性を探る

### 2. 想定される課題

- ・中小企業を投資対象だと思ってもらえる金融系の利用者開拓  
投資判断に時間や分析スキルが求められることで入り口のハードルが上がる  
中小企業投資への参加機会が狭められている
- ・投資家の便宜だけ追求しすぎると中小企業側の負担が大きくなることは避けたい  
成長志向の中小企業が新たなチャレンジをするための投資家が探せるか  
投資家が時間をかけずに自分の好みの対象起業を探せるデータと利便性がポイント

## 2) 事業における推進プロジェクトに関して

### 3. 想定されるサービス要件

- ・ 課題を解決するために指導内容をデータ化し共有し評価されるような仕組み
- ・ 経営指導内容がデータ化見える化されることで競争がうまれるような仕組み
- ・ 実績をもつ民間サービスの評価システムとデータ連携で支援の民間誘導できるような仕掛け
- ・ 投資家ヒアリングから、事業計画と財務諸表の特徴をスクリーニングできるアルゴリズムを探る  
時間やリテラシーの面で、「財務諸表の読み込み」の手前にあたるプロセスを探る
- ・ 投資家は好みや規模・創業年数や契約を持ったうえで企業にコンタクトできるなら成約数の後押しになる
- ・ 企業のページビューが上がることを指標として効果測定することでEBPMや補助金施策への反映を探る
- ・ どの程度の投資でどんなリターンがある等のシステムはリスクが高いため、あくまでも企業検索からのコンタクト
- ・ 他の投資家の利用状況やアクセス履歴の分析から、リコメンドやUI/UXへの活用
- ・ 投資の指標となる経営者の賞歴・特許情報ほか、RESASのAPIや国のAPIデータの連携調査
- ・ R6は中小企業の財務諸表の数値を実数値は表示せず、システムで因数分解し比率や指標化されるような仕組み
- ・ R6は企業の計画や特徴をテキストから抽出し何んらかの優先順位や描写をRESASのように可視化する

# Appendix

# 1. 調査全体



### 3) ミラサポコネクト実証研究事業における開発の理解

個社が申請した補助金や事業計画のデータをデータベースに連携するAPI 拡張機能の設計と開発

#### 1. 個社が申請した補助金や事業計画のデータをデータベースに連携するAPI 拡張機能の設計と開発

- ・データ項目及びデータモデリング、個社検索のためのユーザー機能をダミーデータでプロトタイプを開発
- ・利用者別の検索でダミーデータの個者情報を表示するユーザー機能のプロトタイプを開発
- ・事業者には有益な解決策を提示するAI検索エンジンやリコメンドエンジンを実装

#### 2. 利用ターゲット別の機能検証に関して

- ・利用者の絞り込みから利用データの拡張性と機能の拡張性を念頭に置く
- ・データ投入後の 中小企業・小規模事業者向け・支援機関向け・行政機関向け機能を念頭に置く
- ・補助金や支援政策と連携した効果分析する内部向けEBPMシステムから外部機能への評価軸を検討する
- ・現状の中小企業庁メールマガジン及びミラサポプラス一斉同報メール配信の住み分け又は統合を検討する

## 4) 事業における推進プロジェクトの運用に関して

### 1. 運用フェーズでは、以下の調査イベント開催準備と開催後のレポートの集計と報告

ミラサポコネクト関連ヒアリング・アンケート調査18回のヒアリングイベント調査開催

1. ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス検証調査7箇所
2. ミラサポコネクト新たな利用者のニーズ・サービス検証調査3箇所
3. 資金調達の利用傾向からネクストステージに向けた調査3箇所
4. 民間支援サービスデータと行政データとの関連調査5社

## 2. ニーズ調査①（事前調査）

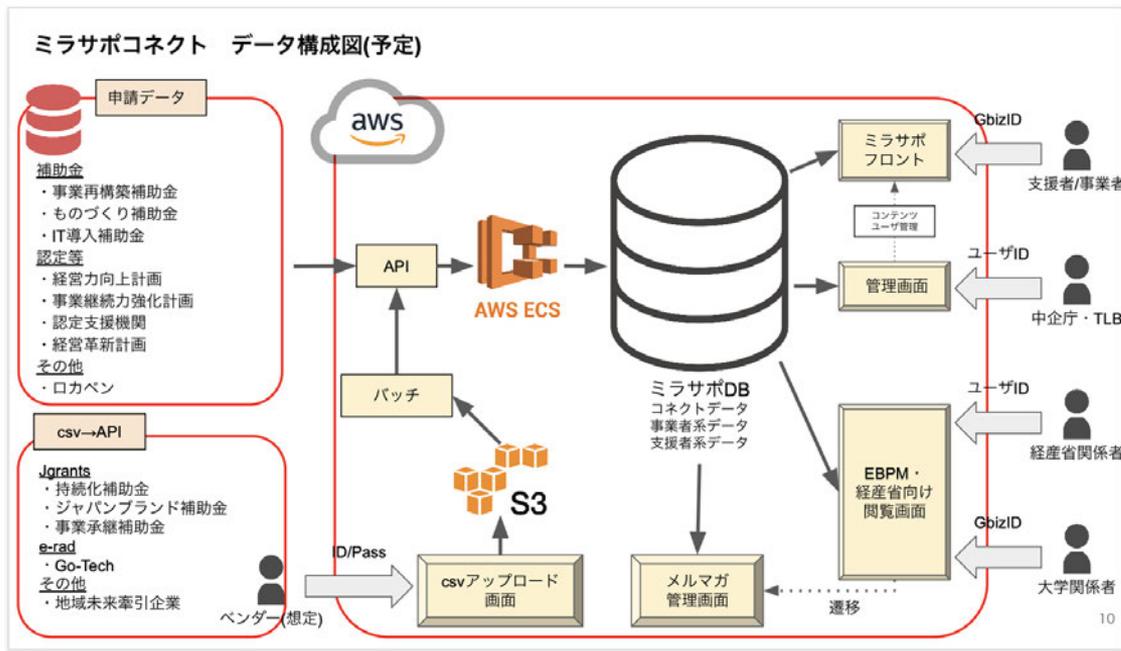
## 2. ニーズ調査①（事前調査）

### 1) 利用者に有効なデータのニーズ検証

1. 利用者に有効なデータのニーズ検証
2. 利用者の想定するユースケースアンケートから
3. 事業者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから
4. 支援者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

1. サービス概要を資料で説明、データ項目や、ニーズの事前調査を行った。



# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

## 1. 利用者にも有効なデータのニーズ検証

- ・ サービス概要を資料で説明、データ項目や、ニーズの事前調査を行った

## 2. 利用者の想定するユースケースアンケートから

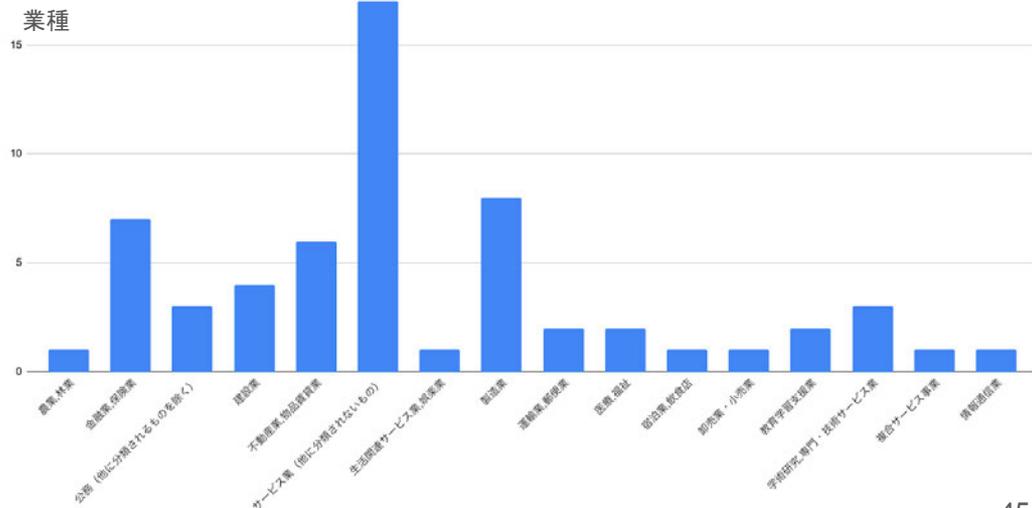
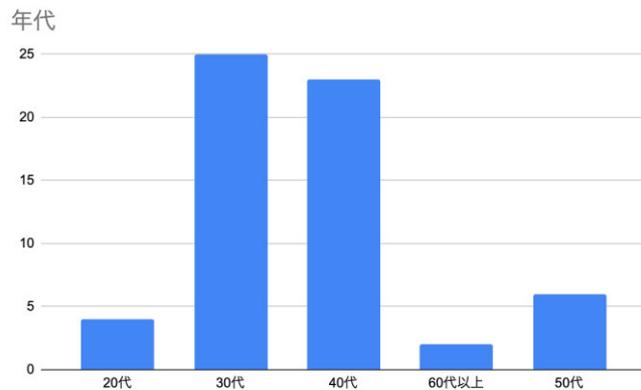
- ・ 支援者の少ない地方から首都圏にリモートで相談できるようになるのはいい。
- ・ 専門家派遣をやっている支援機関は優秀な専門家のオンライン動画は効果的かも。
- ・ サポートする側・受ける側の間に入るような仕組みのサービスがあってもいい。
- ・ 課題解決に必要なデータと信頼・評価がわかるシステムなら良い。
- ・ 信用をどう担保するかと、課題解決するべき切り口が分かりやすいデザインなら良い。
- ・ 個社間で課題と取り組み・計画や魅力がデータでわかるようにするなら良い。
- ・ 対外的に見える実績・人となりはWEB上に公開出来てコンタクトできるのはいい。
- ・ システムを活用する企業及び支援者とサービスの向上の分析が可能なシステムなら良い。
- ・ 事業者が支援者を探すことはほぼ無い。
- ・ 支援者が事業者を探すことはほぼ無い・支援者が支援者を探すことはほぼ無い。
- ・ 知り合いの紹介で探す、銀行や自社の税理士などに相談する。

# 1) 利用者には有効なデータのニーズ検証

## 3. 事業者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

- ・事業者の評価、財務状況などはコンタクトしてからでないとうからないので支援者は企業を探せない。
- ・補助金の採択実績はあるがその後の企業の成長のサポートにどう関与したのか評価がわからない。
- ・ミラサポの認知、利用度が低い→アンケートは認知度40%以下、利用度10%以下

集計対象アンケート: 有効回答数: 61

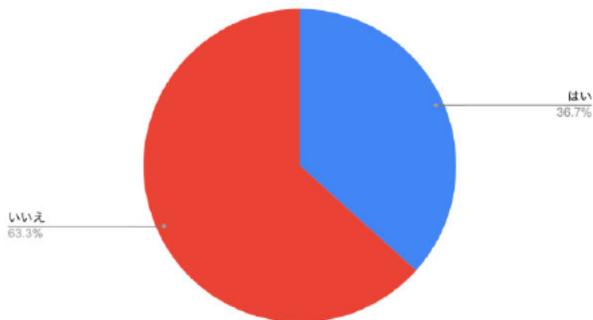


# 1) 利用者には有効なデータのニーズ検証

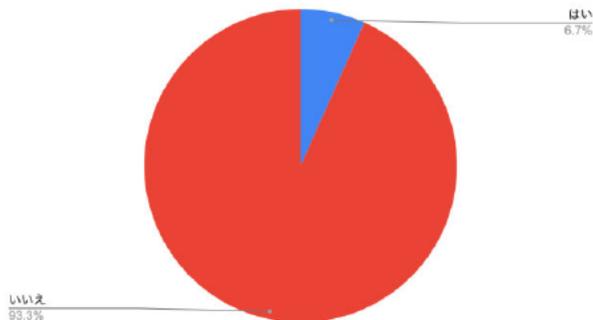
## 3. 事業者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

集計対象アンケート: 有効回答数: 61

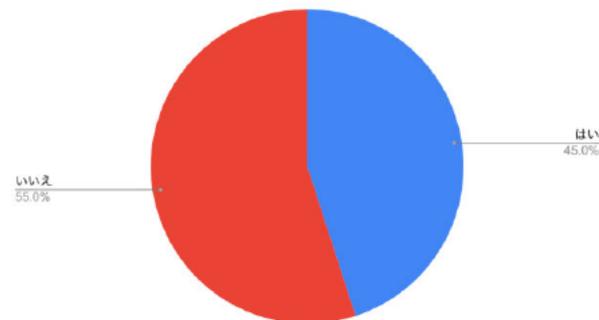
ミラサポPlusを知っていますか？



ミラサポPlusを利用したことがありますか？



補助金を申請したことがありますか？

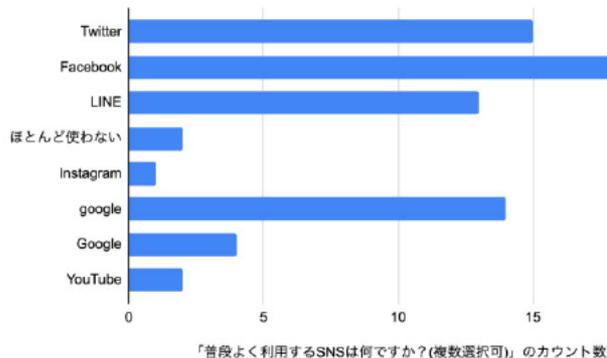


# 1) 利用者には有効なデータのニーズ検証

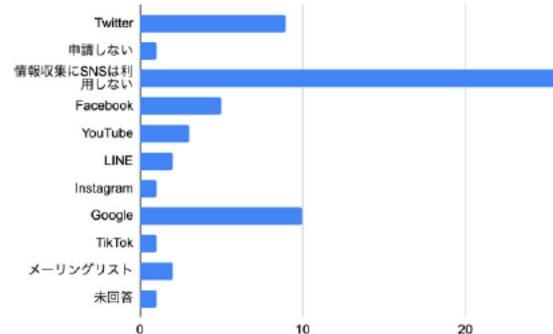
## 3. 事業者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

集計対象アンケート: 有効回答数: 61

普段よく利用するSNSは何ですか？



補助金申請の情報源にしているSNSはありますか？



どのようなときに事業のサポートが必要だと感じますか？



# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

## 3. 事業者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

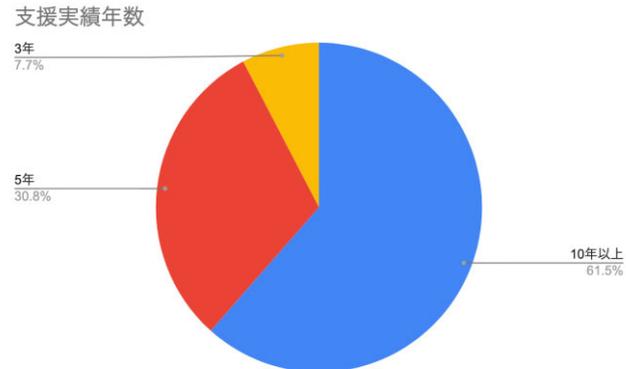
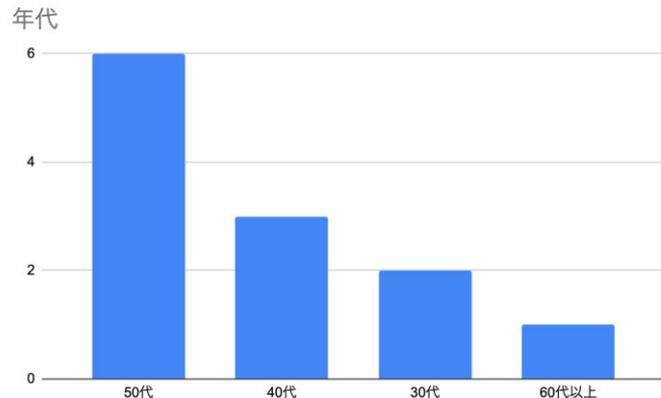
- ・新しいマーケットに必要な知見を持つ支援者をミラサポ支援者で獲得できていない。
- ・補助金申請だけでなく・伴奏支援での有効な手が打ち切れていない。
- ・認定支援者のスキルが追いついていない。特に新規事業、DXやPR対応。
- ・仲介者の役割が重要になってくるが、行政窓口の対応には限界がある。
- ・中企庁のデータだけでは深度が浅くマッチングの参考にならない。
- ・外部データ連携に関してはデータが散乱していて、探し難くわかりづらい。
- ・マッチングでは属人的なコーディネーションが重要である。
- ・中小機構や民間の仲介業者のデータの方が参考になる。
- ・支援者と事業者の間でのトラブルに対応できていない。
- ・士業7割の認定支援者の品質にバラつきがある。
- ・国がマッチングを仲介するのにはハードルが高い。
- ・相談はデリケートでなかなかやりづらい。地方は支援者が圧倒的に少ない。

# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

## 4. 支援者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

- ・ 支援者の評価・実績がブレイクダウンされていない、信頼のネットワークで現状課題を解決している
- ・ 商工会、商工会議所、よろず支援拠点、認定支援機関はほぼ人的な支援を行っている
- ・ 支援機関全体的にネットリテラシーが低くアナログなネットワークで紹介をしている

集計対象アンケート: 有効回答数: 13

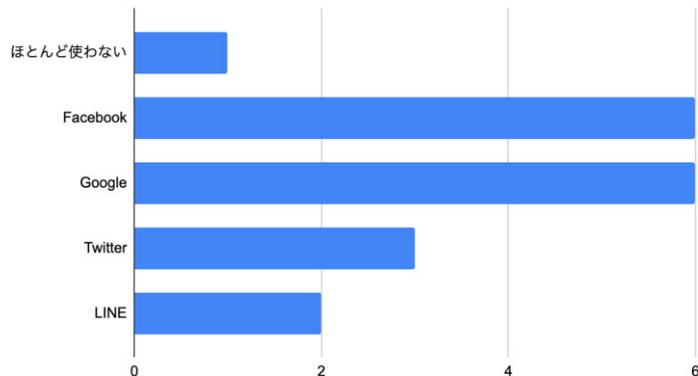


# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

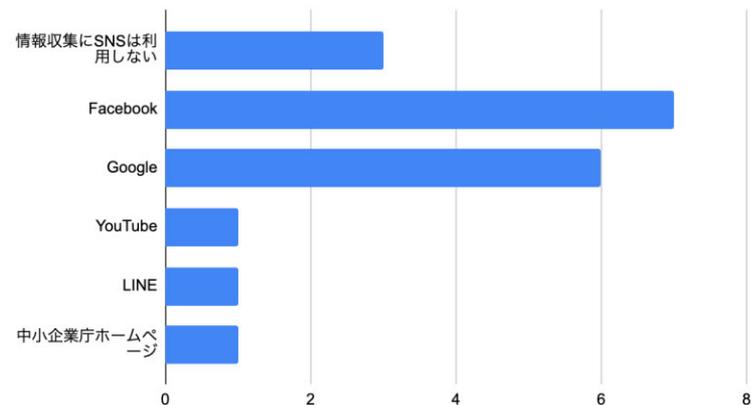
## 4. 支援者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

集計対象アンケート: 有効回答数: 13

普段よく利用するSNSは何ですか？



補助金申請等の情報源にしているSNSはありますか？

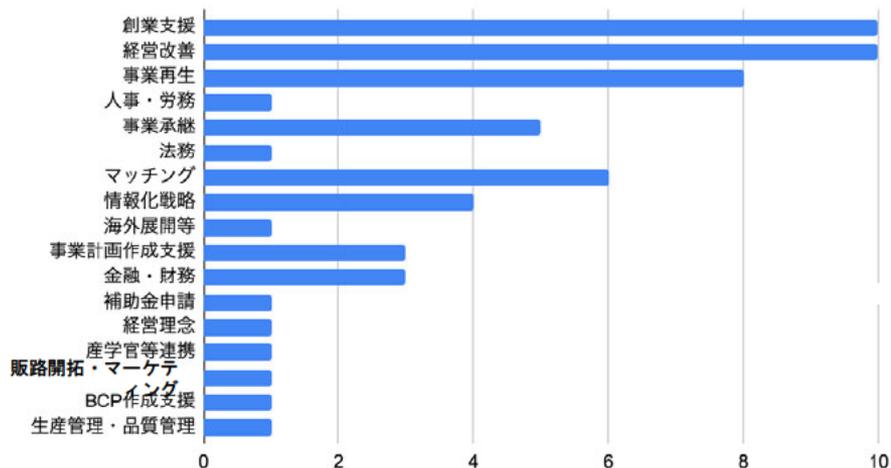


# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

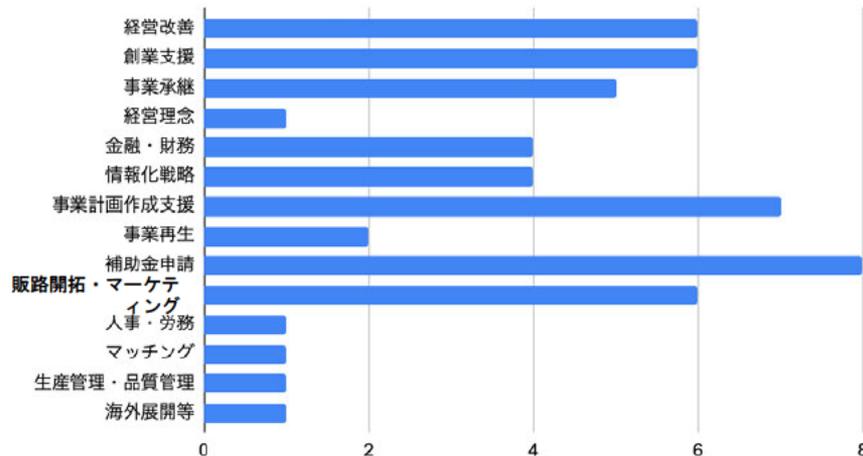
## 4. 支援者のミラサポの認知・支援状況のアンケートから

集計対象アンケート: 有効回答数: 13

どのようなときに事業のサポートが必要だと感じますか？



ご自身が多く支援している事業項目はなんですか？



# 1) 利用者にも有効なデータのニーズ検証

## 4. 支援者のミラサポの認知・支援状況のアンケートレポート

- ・ 支援機関側から見て、この支援者は魅力的で使えると思ってもらえないと依頼は来ない。
- ・ 普段から見知っていない人は、顧客に紹介できないので、アクティブに支援者全体が動いていない。
- ・ ミラサポプラス内の支援マップや自治体の各種補助金等支援制度のアップデートが間に合っていない。
- ・ 中小機構の都道府県ごとの施策をまとめた資料は手作業なので更新が間に合っていない。
- ・ 119は支援機関・支援者を検索できるが事業者がすでに付き合いがある支援機関に声をかけるのが実態。
- ・ 不正が出る度に、その防止策を追加するので、制度そのものが複雑化してきている。
- ・ 都市部と地方部では、あらゆる環境が違うので同じ制度では難しい。地方は支援者の数が少ない。
- ・ 支援機関は優秀な専門家を囲い込む傾向があり、信頼のおける人を常々手元に置いておきたい。
- ・ 支援者側が、ミラサポ事業者を探しに行くようなことは、あまり想定されていない。
- ・ 自ら売り込んでくる専門家や「ミラサポの専門家」は信用ならないというような印象がある。
- ・ 仕事が取れる支援者には、単価が安すぎた。ミラサポの専門家になっていない。
- ・ デジタルの専門家派遣は、当たり外れが大きく、ほとんど当たらない。（よろず支援拠点より）
- ・ ITコーディネータのベストは、中小企業診断士の資格も持ち支援経験の豊富な方。
- ・ 支援は、人間性によって信頼される世界で、結局、信頼関係の構築が重要となる。

# 3. ニーズ調査②（プロトタイプ検証）

## 3. ニーズ調査②（プロトタイプ検証）

- 1) ミラサポコネクト実証研究事業における開発の理解
- 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証
  1. プロトタイプ構築後の事業者ニーズ調査検証から
  2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証から
  3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査
  4. ミラサポコネクトのネクストステージに向けたニーズ調査
  5. 補助金に関心のある事業者セミナー参加者に調査
  6. その他民間支援・企業データ関連調査
  7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

## 1) ミラサポコネクト実証研究事業における開発の理解

### 1. 個社が申請した補助金や事業計画のデータをデータベースに連携するAPI 拡張機能の設計と開発

- ・データ項目及びデータモデリング、個社検索のためのユーザー機能をダミーデータでプロトタイプを開発
- ・利用者別の検索でダミーデータの個者情報を表示するユーザー機能のプロトタイプを開発
- ・事業者には有益な解決策を提示するAI検索エンジンやリコmendエンジンを実装

### 2. 利用ターゲット別の機能検証に関して

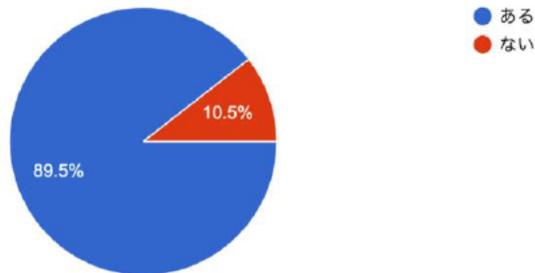
- ・利用者の絞り込みから利用データの拡張性と機能の拡張性を念頭に置く
- ・データ投入後の 中小企業・小規模事業者向け・支援機関向け・行政機関向け機能を念頭に置く
- ・補助金や支援政策と連携した効果分析する内部向けEBPMシステムから外部機能への評価軸を検討する
- ・現状の中小企業庁メールマガジン及びミラサポプラス一斉同報メール配信の住み分け又は統合を検討する

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

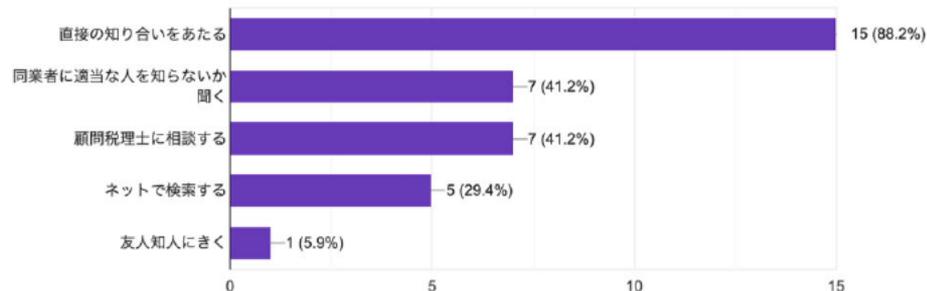
### 1. プロトタイプ構築後の事業者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：事業者がターゲット
- 集計対象アンケート：有効回答数：20

[Q1] 自社が抱える課題を解決するために専門家を探すことはありますか？  
19件の回答



[Q2] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような手段で専門家を探しますか？  
17件の回答

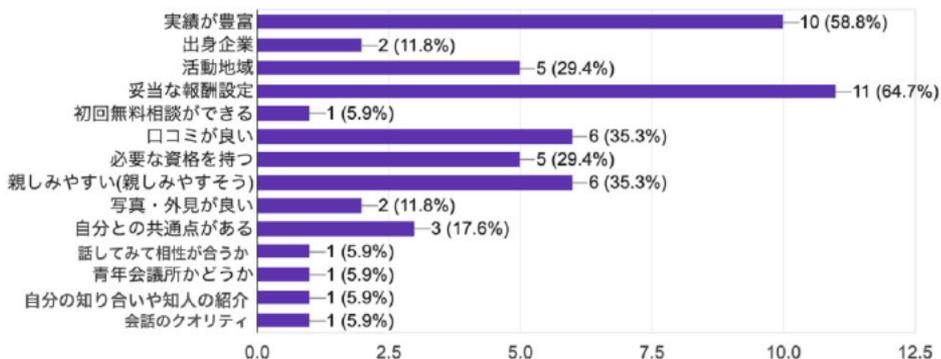


## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

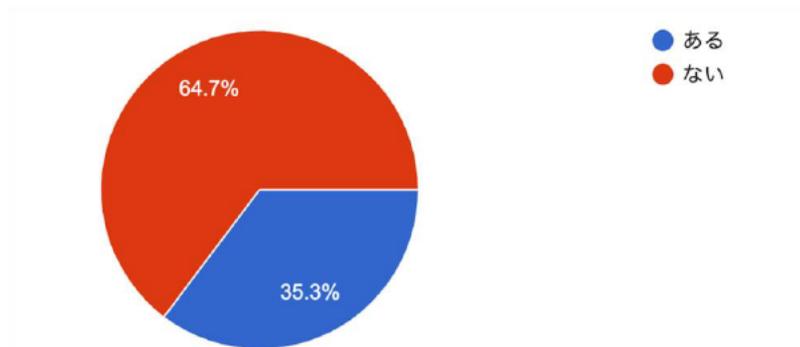
### 1. プロトタイプ構築後の事業者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：事業者がターゲット
- 集計対象アンケート：有効回答数: 20

[Q3] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような観点でその専門家を判断しますか？  
17件の回答



[Q4] これまでに適当な専門家が見つからなかったケースはありますか

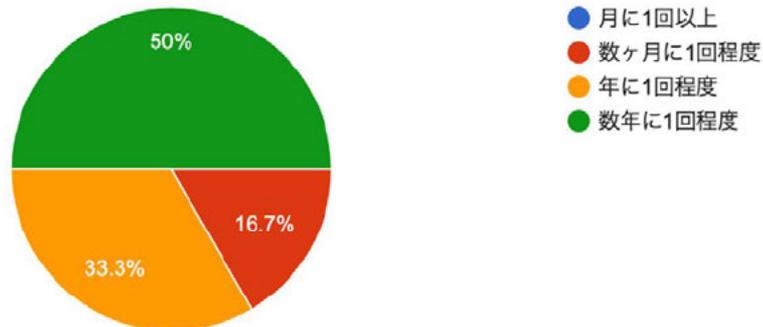


## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 1. プロトタイプ構築後の事業者ニーズ調査検証から

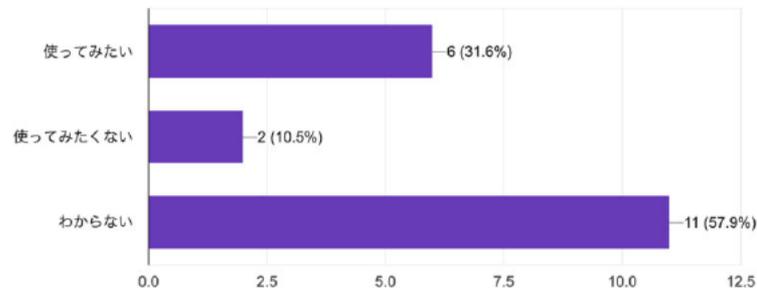
- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：事業者がターゲット  
集計対象アンケート：有効回答数: 20

[Q6] Q4で「ある」と答えた方は、適当な専門家見つからないことは、どのくらいの頻度で起こりますか



[Q7] ミラサポコネクトでは、中小企業庁が認定する支援機関を中心に、様々な経営課題を解決できる専門家を検索できる機能を実装予定です。ミラサポコネクトの専門家検索を使ってみたく思いますか？

19件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 1. プロトタイプ構築後の事業者ニーズ調査検証からのレポート

- ・実データが入ったら使ってみたいと思うが、使う側のリテラシー育成が必要で、利用促進のプランが重要。
- ・ネットリテラシーの高い若手支援者に構想は伝わったが、年齢層が高い支援者はほぼ理解できなかった。
- ・一般のECサイトの様に「いいね」やクチコミなど他者の評価で判断できるといい。
- ・見慣れたECサイトの様な情報や口コミなどの機能の作り方を取り入れる必要があると思う。
- ・SNSなどにあるマイページの内容を充実させ、必要な情報がプッシュで配信されたらキッカケになる。
- ・いいね！をした支援者の情報を頼りに、その人を評価できる情報があれば相談するかもしれない。
- ・行政の仕組みやサービスはわかりづらい民間のUI/UXをもっと勉強するべきだと思う。
- ・専門家を判断する基準は経験と報酬の金額。その後は親しみやすさや人柄で判断している。
- ・新規事業立ち上げ等において、マーケティングやサービスなどに強い専門家が探せたらいい。
- ・専門家が検索で支援者のパーソナルな情報や評価などを知ることができれば検討できる。
- ・事業承継は信頼できる第三者が見つけられないくらいなら廃業してもいいと思っている人が多い。
- ・資金調達においては信用金庫の付き合いが長いほど融資のハードルや金利も低くなる。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

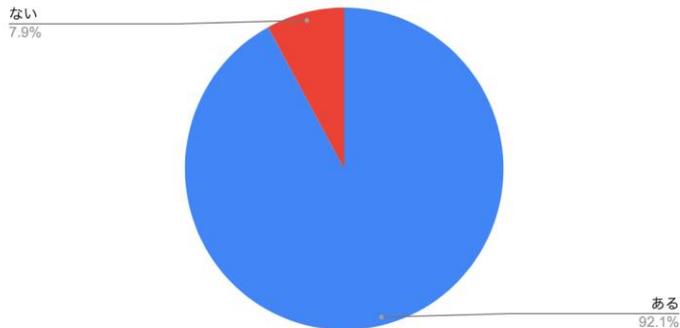
### 2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

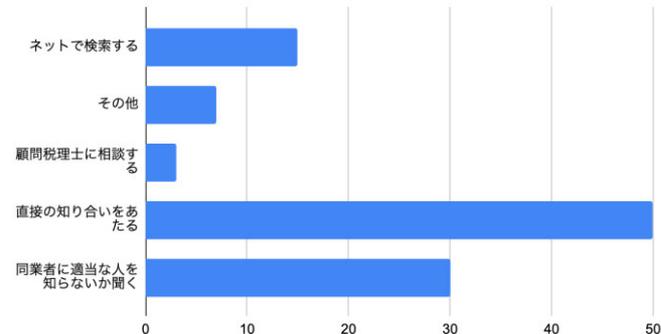
集計対象アンケート: 有効回答数: 64

中小企業庁ミラサポコネクトの支援者検索機能に関するアンケート\_支援者(Q5~Q11の項目は未実施)

[Q1]  
普段の支援者としての仕事の中で、自分以外の専門家を探すことはありますか？



Q1.で「ある」とお答えの方はどのような手段で専門家を探しますか？



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

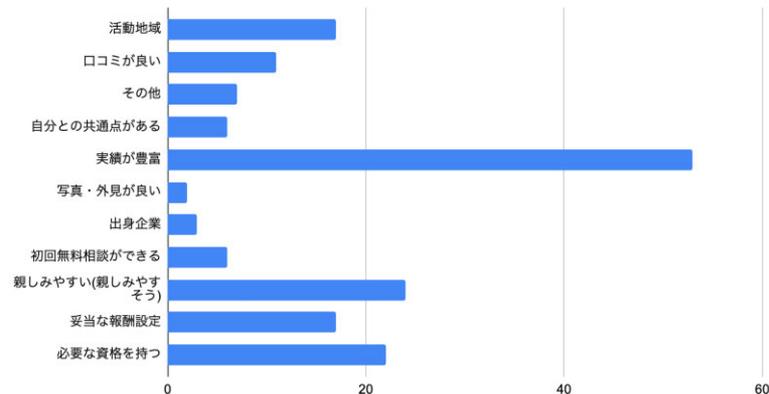
### 2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

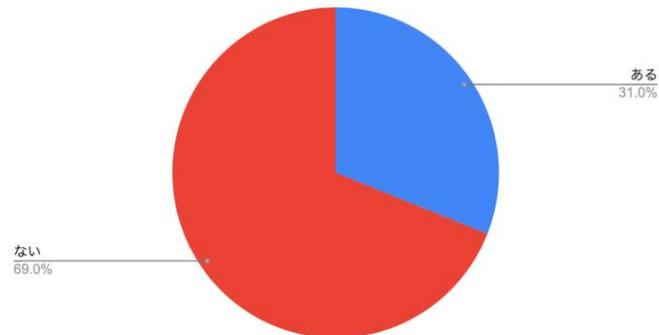
集計対象アンケート: 有効回答数: 64

中小企業庁ミラサポコネクトの支援者検索機能に関するアンケート\_支援者(Q5~Q11の項目は未実施)

Q1.で「ある」とお答えの方はどのような観点でその専門家を判断しますか？



Q1.で「ある」とお答えの方は、これまで、適当な専門家が見つからなかったケースがありますか



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

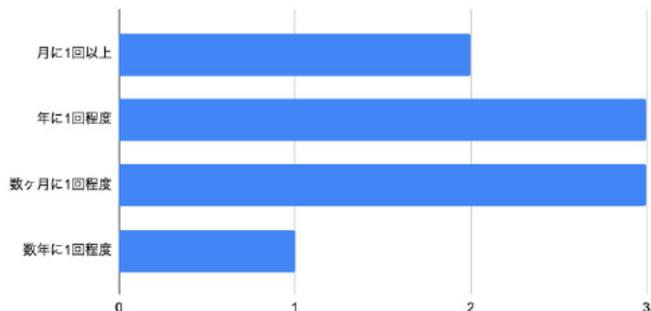
### 2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

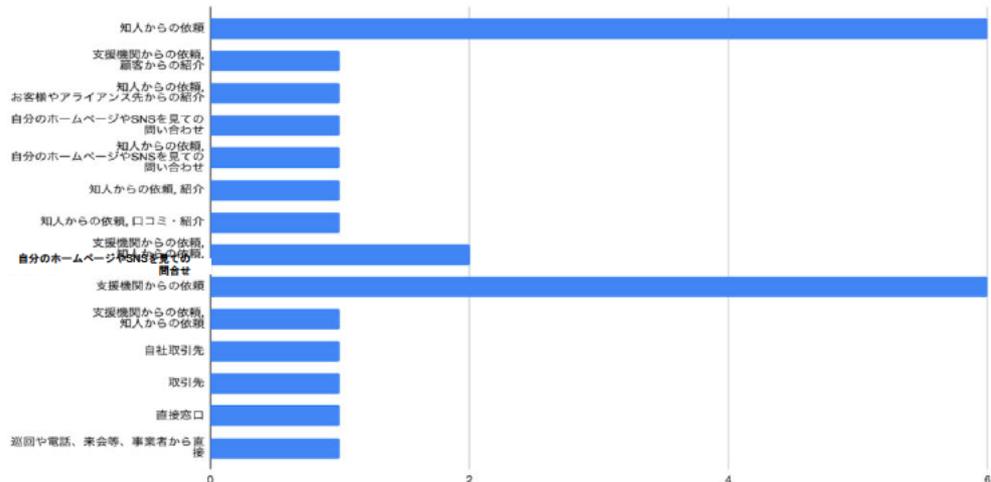
集計対象アンケート: 有効回答数: 64

中小企業庁ミラサポコネクトの支援者検索機能に関するアンケート\_支援者(Q5~Q11の項目は未実施)

[Q6]  
Q4.で「ある」とお答えの方は、適当な専門家が見つからないことは  
どれくらいの頻度で起こりますか？



[Q7] 支援者としての仕事の依頼は、どのようなルートで来ますか？



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

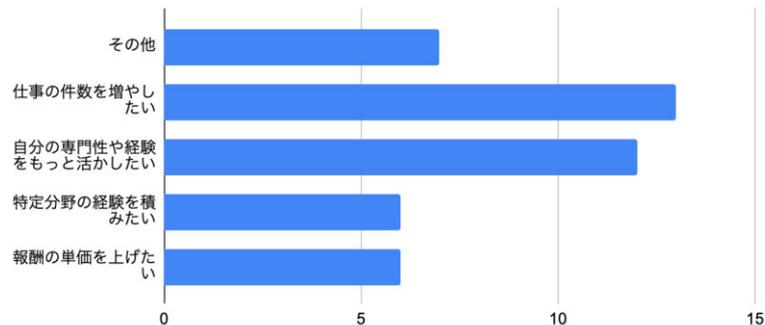
### 2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証から

- ・ミラサポコネクタターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

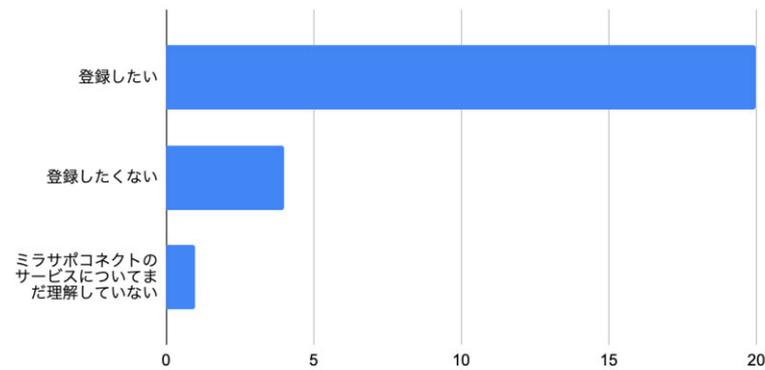
集計対象アンケート: 有効回答数: 64

中小企業庁ミラサポコネクトの支援者検索機能に関するアンケート\_支援者(Q5~Q11の項目は未実施)

[Q8]  
支援者としての仕事について今後の展望として当てはまるものを教えて下さい



[Q9]  
Q8.に挙げた展望を実現できるとしたら、ミラサポコネクトに登録したいですか？



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 2. プロトタイプ構築後の支援者ニーズ調査検証からのレポート

- ・ 今後の日本経済の牽引役である中小企業支援の重要性は高まっている。
- ・ 地方においても、製造業を中心に、伸びている企業は3割程度ある。
- ・ ゼロゼロ融資の返済が始まり、苦しい経営者の相談が急増している。
- ・ 経営指導員のサポートで補助金は取れる状態だが、指導内容が公開されていない。
- ・ 地銀は中小企業の再編やM&Aやコンサルにも多く介在しているがその情報が公開されていない。
- ・ 相談はデリケートでなかなかやりづらい。地方は支援者が圧倒的に少ない。
- ・ 経営指導が時代にマッチし、相談事業者に最適なアドバイスがされているか検証ができていない。
- ・ 認定指導員の資格はどんどん発行され増したが、コミュニケーション能力やスキルは向上していない。
- ・ デジタルだからこそ、どんな田舎においても対応が可能である。
- ・ 突破口となるデジタルインフラ構築が企業群支援になることを期待したい。

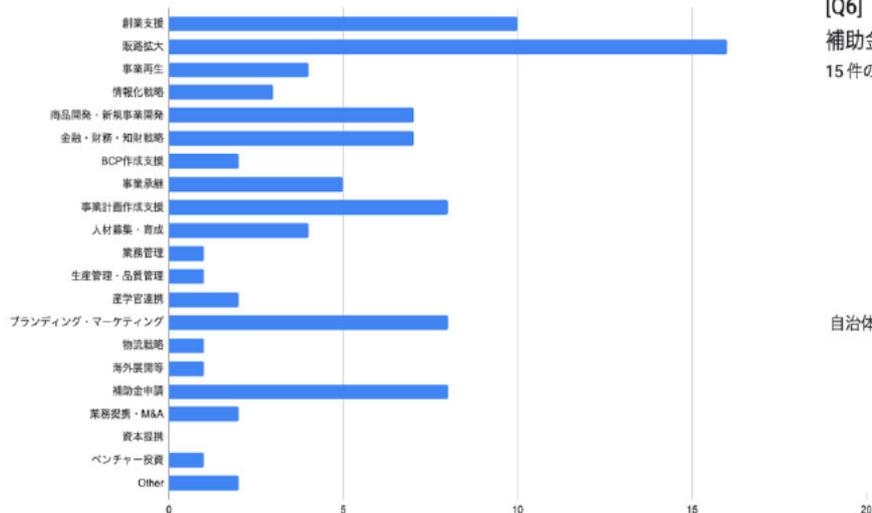
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査

・ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

集計対象アンケート：金融機関、信用金庫・事業者 有効回答数:21

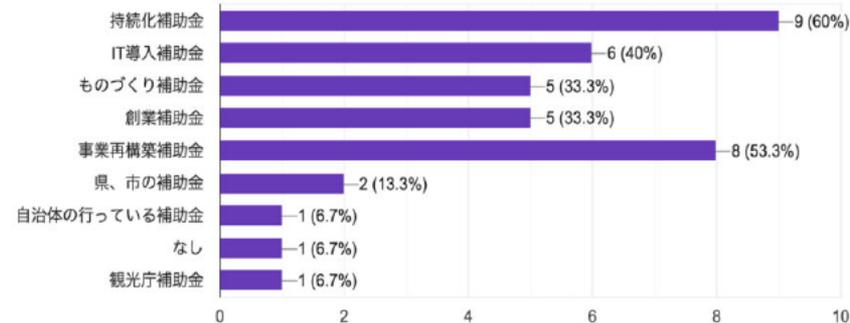
現在の支援内容を教えてください。



[Q6]

補助金活用支援について、現在補助金申請に係る支...る場合は該当のものにチェックをお願いします。

15件の回答



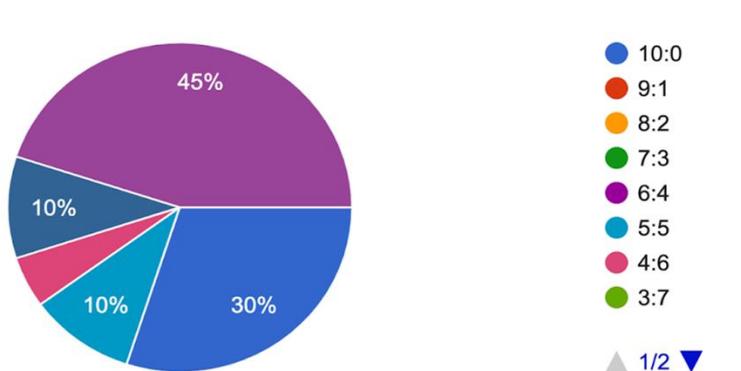
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査

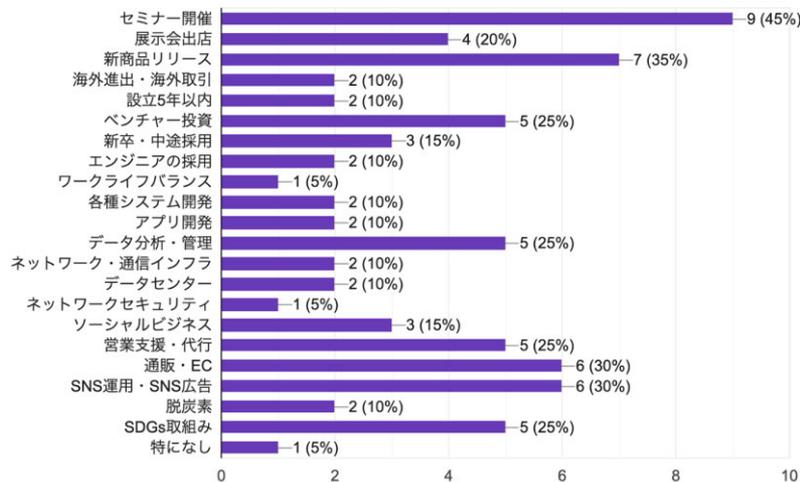
・ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

集計対象アンケート: 金融機関・信用金庫・事業者 有効回答数:21

[Q7] 現在、公的支援者と、民間支援者の仕事の割合を教えてください。



[Q10] 企業の活動情報で気になるキーワードにチェックを入れてください  
20件の回答



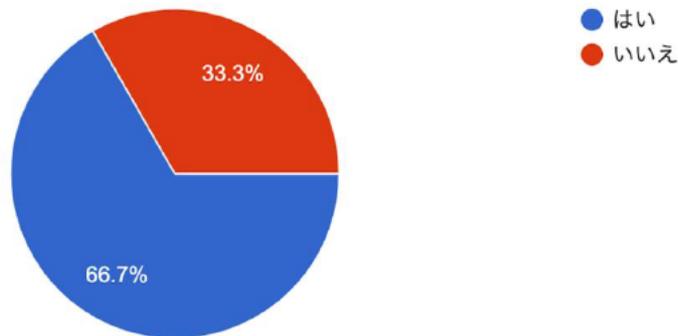
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査

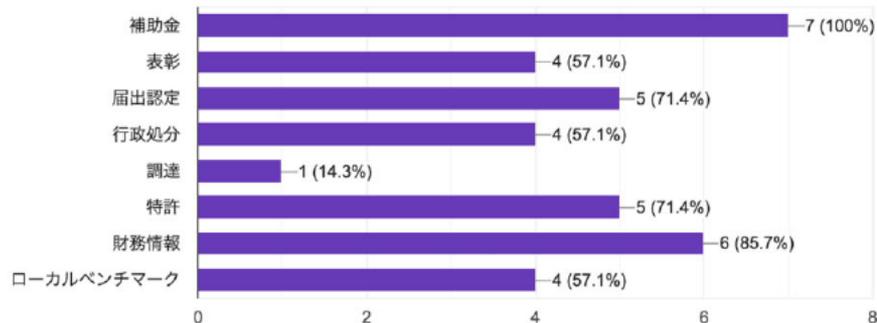
・ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

集計対象アンケート：金融機関・信用金庫・事業者 有効回答数:21

[Q12] 国が支援者・事業者の情報を公開した場合、活用したいと思いますか



[Q20] 経済産業省が保有するデータのうち、融資審査となり得る情報にチェックを入れてください  
7件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査

・ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

集計対象アンケート: 金融機関、信用金庫・事業者 有効回答数:21

[Q9] 融資検討の際、経営陣のどのような情報を重視されますか

定性、定量の総合的判断

代表者の資産背景、地域でのポジション、代表者の経歴など。

取引先との関係、事業への考え方

経営方針、代表者経歴、業界歴、業界内のポジション

経歴や人物像、事業目標

[Q11] 融資の観点からよく使っている情報があれば教えてください

市場成長性

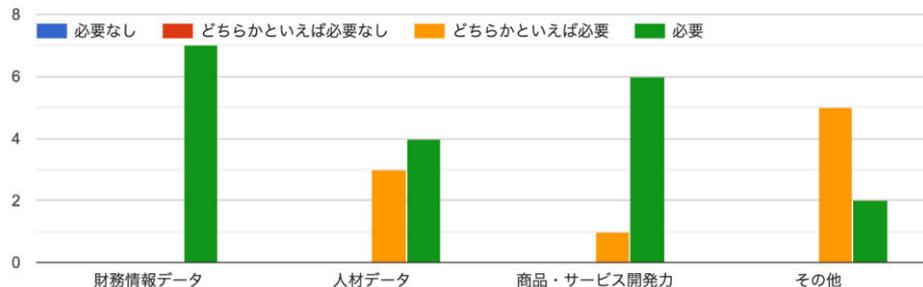
事業計画、資金繰り表など

帝国データバンク情報

資金繰りに関する情報

決算書、附属明細、業界等外部情報

[Q7] 融資検討の際に基準となる騎乗情報の必要性を教えてください



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

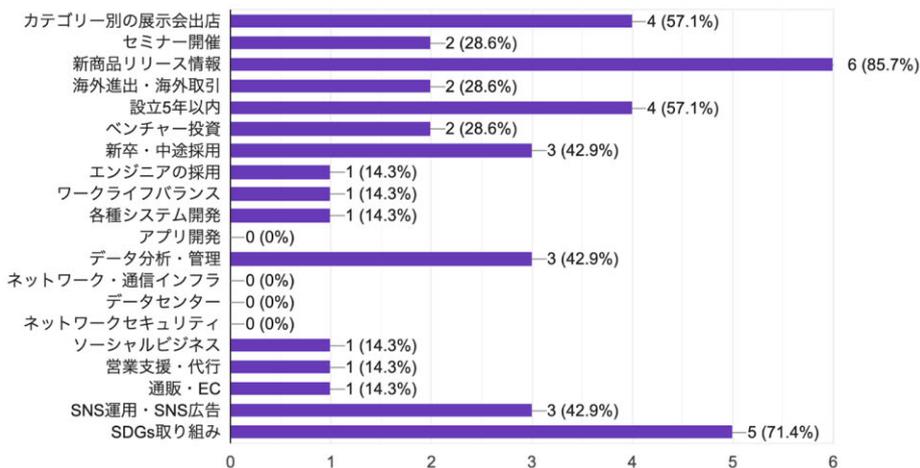
### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想のニーズ調査

・ミラサポコネクトターゲット別のニーズ・サービス調査検証：支援者がターゲット

集計対象アンケート: 金融機関・信用金庫・事業者 有効回答数:21

[Q13] 融資対象企業の活動情報で気になるキーワードにチェックを入れてください

7件の回答



[Q15] 今後メインとしたい融資先企業の規模感をご入力ください

創業期または事業承継を5年～10年後に控える企業  
 売上高5億円以内、業歴はあるが弊金庫と取引が無い先。  
 規模感は幅広く分散させたい  
 従業員10名程度、年商1億円以上  
 地元地域で根差した事業展開を目指している企業

[Q17] 今後どのような企業を発掘し、融資を行いたいと考えていますか？

(担当者様の興味・関心で構いません。)  
 地域経済全体を盛り上げていくような事業を行う企業  
 事業意欲(革新・拡大)の高い企業。  
 強みがあるが、資金不足や手段がないために活かしきれていない企業。  
 社会課題の解決に資するような技術等のイノベーションを生む企業  
 創業、起業、成長性のあるベンチャー企業

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想金融機関からのレポート

- ・創業の相談は「信金へ」を打ち出して投資・融資の相談を受けている。
- ・創業時は財務状況がよくないので、融資と投資を分けて考える必要がある。
- ・創業支援を3年担当しコワーキングとインキュベーションの施設を作りスタートアップ支援。
- ・信金スタッフが徹底的に関われるように人・ビジネスをつないでプロジェクトを立ち上げる。
- ・プラットフォームは未来の観点で可能性を感じる。自分達のやっていることに若手起業家からの反感はない。
- ・データを活用した融資先の発掘にトライしている。RESASのような情報プラットフォームには触ってみたい。
- ・期待も持てるが危機感もある。プラットフォームを前提とした新たなビジネスモデル作りが必要になる。
- ・プラットフォームにあるデータを使ったコンサル機能を強化するために今から準備をする必要がある。
- ・最初の数年間は信金職員限定で解放するのも一案である「つなぐ力」の在り方を再定義する必要がある。
- ・大企業の副業支援や人手不足が深刻な地方の企業に経営人材の転職推進や事業承継が進めば良い。
- ・金融庁の全国の約100行の金融機関と連携して地域企業に人材を紹介する取り組みはほぼ誰も知らない。
- ・日本政策金融公庫「新創業融資制度」に関しては参加金融機関は誰も知らない。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 3. ミラサポコネクト・オープンプラットフォーム構想投資家からのレポート

- ・現時点で企業情報は帝国データのものを買っているので特に問題はない。
- ・事業評価は市場規模と成長性・ユーザの需要の強さ・成長性を「キメラ総研」などのデータも使う。
- ・既存拡大と新規事業は好き嫌い、どっちが儲かるかで投資判断をする。肌感覚でアイドルの好みと一緒に。
- ・事業計画の蓋然性を証明するため、投資はIRRを見ている。複合的な情報・データの組み合わせが必要。
- ・投資期間までは信じて付き合う、待てるだけ待つ。トップラインが伸びるまで体力があるか否か。
- ・業種、エリア、創業年数、売上規模、売上伸び率、財務状況・補助金情報などが欲しい。
- ・投資を受けたいという情報は(意思表示があれば)ファンド系・事業会社系に役に立つだろう。
- ・補助金と違いファンドの特徴は、資本と支援の両輪を提供するのでニーズがマッチしないといけない。
- ・支援者と事業者の間でのトラブルのリスクより調達仲介のほうがハードルが高い。
- ・仲介者の役割が重要になってくるが、行政窓口での対応には限界がある。
- ・事業の特徴やPR・将来会社をどうしたい等の情報が得られなければ情報出口戦略まで描くのは難しい。
- ・事業再構築補助金申請企業への投資検討はステージが違うため大きめのファンドは難しい。

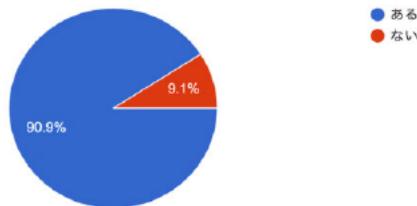
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 4. ミラサポコネクトのネクストステージに向けたニーズ調査

集計対象アンケート関東若手起業家の資金調達に関する調査：回答数:12

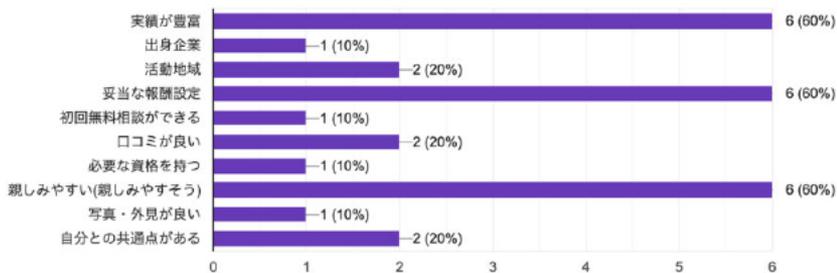
[Q1] 自社が抱える課題を解決するために専門家を探すことはありますか？

11件の回答



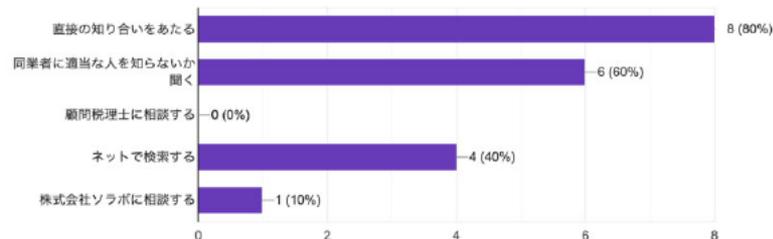
[Q3] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような観点でその専門家を判断しますか？

10件の回答



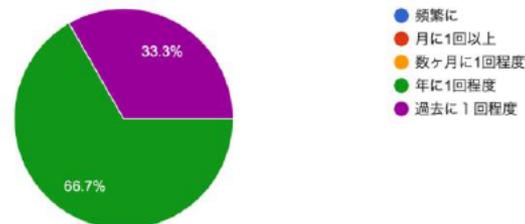
[Q2] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような手段で専門家を探しますか？

10件の回答



[Q6] Q4で「ある」とお答えの方は、適切な専門家が見つからないことはどれくらいの頻度で起こりますか？

3件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 4. ミラサポコネクトのネクストステージに向けたニーズ調査関東若手起業家のレポート

#### ミラサポコネクト【使ってみたい】

- ・ 中小企業庁の認定の専門家だと安心してお願い出来る。
- ・ より多くの専門家と出会える機会が欲しいから。登録者がよい人なのかが評価・判断できる情報がほしい。

#### ミラサポコネクト【使ってみたいくない】

- ・ 会社経営をしていくうえで、必要なものはそろっているため。そもそも一人起業で拡大を考えていないので、必要と覚えることが少ない。
- ・ 国や公的機関の用意する仕組みに実態と即した有益なものができるイメージがわからないわかない為。

[Q9] ミラサポコネクトに登録する経営者を増やすには？自身の経験から何かアイデアがあればお聞かせください

- ・ 知名度を上げる。知名度の高いものとセットにしてみる。納税関係とか補助金とか。
- ・ ミラサポコネクト経由で紹介された専門家の初回サービス料を無料にし、サービスの質を確かめられるようにしたら口コミで広がりそう。
- ・ 経営者の課題に対して、実際に解決した事例が載っていれば、利用したくなります。
- ・ 経営者の口コミやSNSでの発信。徹底したSEO対策。分かりやすいUI。専門家のクオリティと知名度。
- ・ 例えば経営者がミラサポの拡大に寄与することで何らかの報酬を得られるようにするなど巻き込んでいく仕組みにする。

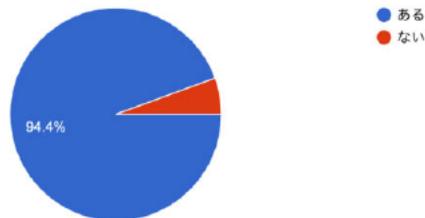
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 4. ミラサポコネクトのネクストステージに向けたニーズ調査

集計対象アンケート関西若手起業家の資金調達に関する調査：回答数:18

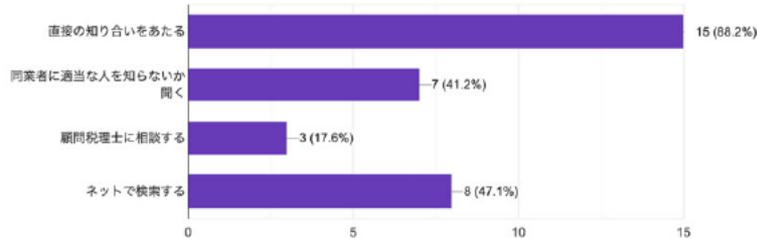
[Q1] 自社が抱える課題を解決するために専門家を探すことはありますか？

18件の回答



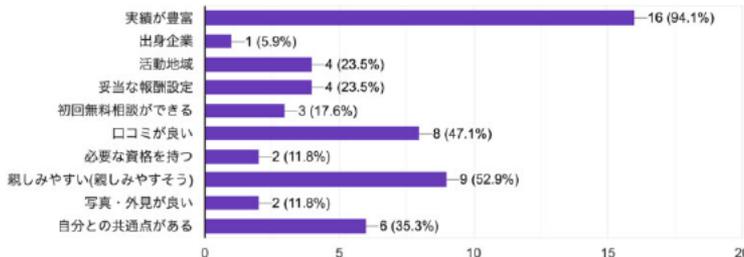
[Q2] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような手段で専門家を探しますか？

17件の回答



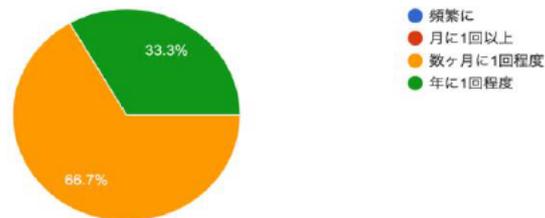
[Q3] Q1で「ある」とお答えの方は、どのような観点でその専門家を判断しますか？

17件の回答



[Q6] Q4で「ある」とお答えの方は、適切な専門家が見つからないことはどれくらいの頻度で起こりますか？

3件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 4. ミラサポコネクトのネクストステージに向けた.関西若手起業家のレポートから

#### ミラサポコネクト【使ってみたい】

- ・ 専門家を効率良く探せるなら助かるから、有能なサービスと思ったため。
- ・ 求める人に会える確率が上がったり、スピードが早くなりそう。
- ・ 課題解決の手助けになりそう、色々な顧客の要望に応える為に。

#### ミラサポコネクト【使ってみたいくない】

- ・ 詳細を知らないから。自分の会社とマッチするような人がいるかわからないから。
- ・ もし専門家に相談することになった際は、まず信頼できる知り合いに相談します。解決が難しい場合であれば検索をしたいと思います。

[Q9] ミラサポコネクトに登録する経営者を増やすには？自身の経験から何かアイデアがあればお聞かせください

- ・ 経営者のわかる言葉で身になって話せそうなイメージを持ってもらう。
- ・ 金融機関など、経営者に直接リーチできる組織にミラサポの価値と広まることの良さを伝える。
- ・ 起業した際に様々な案内が届きますが、その際にサービスの案内があれば知るきっかけにはなると思います。
- ・ ミラサポコネクトであることの意味がクリアになるといい。登録されている方々の講演やイベントに経営者を招待する。

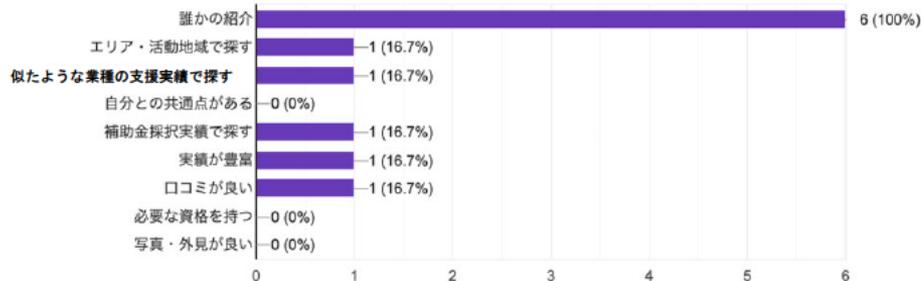
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 5. 補助金に関心のある事業者セミナー参加者に調査

集計対象アンケート補助金に関心のある福岡の事業者のミラサポコネクトに関する調査：参加者45人中回答数:6名

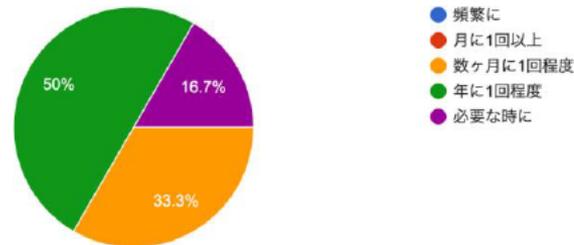
[Q1] 普段どのような手段で専門家を探しますか？

6件の回答



[Q2] 補助金や専門家を探す頻度は？

6件の回答



今は税理士や会計士の先生や専門分野の先生に相談する事が多い

- ・どんな専門家が所属しており、どれくらいの費用がかかるのか、などのイメージがわからない。

[Q5] このシステムを使う経営者が増えるにはどうしたら良いと思いますか？何かアイデアがあればお聞かせください

- ・オンライン相談窓口のようなものを設け、コーディネータのような役割の人がいるといいのでは？
- ・PRや媒体等で幅広くひろめる。影響力の高い、サクラを用意する。若者の認知を広げる。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 民間支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間経営支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット
- ・ 事業者⇨専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### ①金融機関\_\_金融データヒアリング

- ・ イシューソリューションマトリクスから人材不足の特定から課題提案する営業支援ツールを回している。
- ・ 現状課題はデータ量が少なくてまだヒートマップは作れない・UI的にはまだまだの段階。
- ・ 売買情報は多くの人の目に触れる方がマッチング成功率が上がりミラサポとのデータ連携はある。
- ・ 中小企業をターゲットとした場合に経営者は高単価商材などに関しては使用するのではないかと思う。
- ・ リンカーズERPIに入っているデータがあると、財務の健全性などが分かりマッチングの意思決定が早くなる。
- ・ 補助金の申請内容から何に困っているか何をしようとしているかが分かるならば、利用したい。
- ・ 地域×補助金テーマが分かったり、地銀向けLFBに地域の課題感・動向をAPI連携できるといい。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット
- ・ 事業者⇒専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### ②金融機関\_\_民間投資ファンドヒアリング

- ・ 投資対象の企業データはTDB情報で、タートアップ情報は「INITIAL」などで行っている。
- ・ ベンチャー投資は・シード・アーリー・ミドル・レイターのステージによって見る情報が異なる。
- ・ 業界では対象企業の絞り込みジャンルは担当者の好き嫌いで決まり、より多くの情報を持っている。
- ・ 市場規模・成長性をキメラ総研などマニアックなデータを使い、ユーザの需要の強さを肌感覚で調べる。
- ・ 投資期間・対象が異なる企業はIRRで、早期に資金を回収できるような収益率の高い案件を判別できる。
- ・ キーワードSDGs・脱炭素の優先度が高い、医療・エンタメ・観光・教育など担当者個人の感覚で決まる。
- ・ 融資は過去情報から判断、未来の可能性に対してカネを出すのが投資と捉えて取り組んでいる。
- ・ 受賞歴や投資家などの第三者が評価した結果をDB化すると価値が出るのではないか。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット
- ・ 事業者⇨専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### ③民間人材口コミサービスデータヒアリング

- ・ 転職サイト・doda・マイナビ転職・イーキャリア・typeと提携し国内最大級32万件以上の求人情報掲載。
- ・ 約480万件以上の企業情報と約320万件の口コミを掲載。現社員・元社員からの口コミを掲載している。
- ・ 労働環境・年収・企業の雰囲気など、気になる情報を入手できる為、転職や就活で利用されている。
- ・ 人的な支援は行っていない口コミ情報は信頼性の高い情報を効率的に入手できる仕組みが出来ている。
- ・ 退職者の主観的でネガティブな口コミは目視で確認しているのでデータの信憑性は保証できていない。
- ・ 口コミデータ量は少なく、評価基準に満たない企業も多く中小企業は判断できる評価数に限りがある。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット
- ・ 事業者⇨専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### ④支援機関\_民間経営支援企業\_データヒアリング

- ・ DB登録者数52万人超（日本人15万人超、外国人37万人超）と日本では最大級の登録者数を所有
- ・ コンサルティングファーム、金融機関、大手企業、ベンチャー企業、中小企業、地方企業、行政など専任の担当者が企業の課題を把握したうえで、候補者をDBから検索するフルサポート形式がある。
- ・ セルフマッチングでは企業が自らサイト内検索しアンケートの返信からスポットコンサルを依頼できる。
- ・ Coleman Research Group を買収し、システム上でグローバルで精度の高いマッチングの自動化を開発中。
- ・ 現状人的サポートが主体的になっているので生産性を高めることが今後の課題となっている。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット
- ・ 事業者⇨専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### ⑤支援機関\_民間プロ人材支援企業\_データヒアリング

- ・ 累積登録プロ人材数21,020名。金融機関との提携による事業展開で地方銀行の価値強化を推進している。
- ・ 経営課題から推察される効率的なプロ人材の派遣は、評価データの強化で差別化を図っている。
- ・ クライアント企業の担当者にヒアリングをもとにして課題を特定し適任者のペルソナを設定している。
- ・ ペルソナに従い社内のDBを検索後1～3名くらいに絞り、クライアント企業にメールで推薦している。
- ・ オンライン面談を実施し要件が合えば、期間・稼働頻度・月額金額を決めて、契約といった工程で実施。
- ・ プロ人材の採用が決まった後もクライアント企業と登録プロ人材の間で運用管理・調整を行っている。
- ・ 属人化しているスキルが多いことからコンサルタントの人材不足と育成が課題となっている。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 6. その他民間支援・企業データ関連調査

- ・ 支援事業者（人材・求人転職ニーズ、民間支援サービスデータフォルダ、投資ファンドがターゲット）
- ・ 事業者⇨専門家の企業支援事業を展開する専門的なスキルを持った支援者へのインタビューを実施

#### 民間支援サービス・データ支援関連まとめ

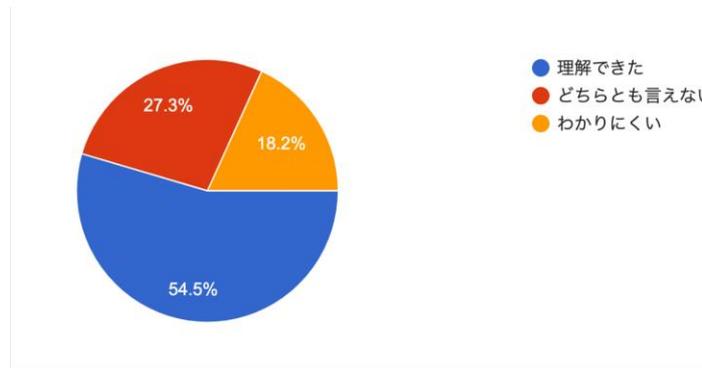
- ・ 民間支援サービス業績は好調で顧客拡大が進んでおりニーズは高まっている。
- ・ 金融機関向けビジネスマッチングシステムではデータ保有量が少ないが今後の将来性は感じている。
- ・ モノ・サービス・人材、不動産の売買や資金調達情報などがまとまったサービスはまだ出ていない。
- ・ 投資の市場は高まっているが現時点では担当者のスキルに頼る情報の収集に頼っている状況。
- ・ 事業者の課題解釈からシステムによるマッチングをグローバルな数で成果を出すかの選択肢はある。
- ・ 属人的にコーディネートできる支援人材を確保するか、マッチングシステムで精度を上げるかの2極化。
- ・ 属人性が良いか、システムが良いか、量より質をとって確実な事例をつくるかは事業展開方針の違い。
- ・ 支援者のスキル、経験値の評価と、より精度の高いデータとマッチング技術による対応が求められる。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

【ミラサポCONNECTとは】を読んでサイトの利用の目的と方法は理解できましたか？



Q4：検索で表示された支援者・事業者の項目を見て相談したいと思いましたか？  
11件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

Q5：Q4：の回答の理由を教えてください。また、どんな情報があれば相談したいと思いますか？

経産省や中企庁のお墨付き感があるが、その信憑性についてどこまで担保できるかが不明。

検索結果に出てくる支援者一覧の差別化がはかれない。他者評価があったほうが選びやすい。支援者の熱量がわからない。

対応事例、実績、担当者の見える化がされていれば、これを使って相談したいと思えるかもしれない。

他者評価があったほうが選びやすい。支援者の熱量がわからない。動画などみてみたいかも。

今までの対応件数、直近ログイン日や口コミなどがなく、本当に信用できる支援者かわからない。

このサイトで課題を解決できるイメージができない。相談窓口など問い合わせしやすそうな動線が欲しいです。

判断材料が少ないため、結局はGoogleなどで検索して企業を調べる。

初見の事業者に相談しにくい、詳しい人や信頼できる人に相談して紹介してもらった方がいいと思います。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

Q2：私は【検索】に [ ] と記入しました。

[事業再構築] [補助金]

[何も検索しない]

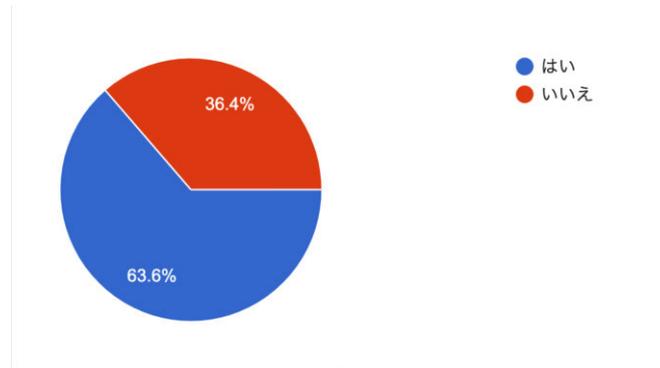
[再構築補助金] [農業] [IT補助金]

[IT導入補助金] [使える補助金]

[補助金 業種] [創業融資支援]

[事業再構築補助金]

Q6：検索するときエリア・業種・補助制度・社名などでの検索を行いますか？



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

Q7：どんな検索項目が必要だと思いますか？

- ・ 代表的な補助金のリンクやプルダウンメニューがあった方が良かったです。
- ・ ユーザーを誘導できるようなナビゲーションが必要かと思います。
- ・ そもそもどんな状況でこのページに訪れるかが理解できないので何んとも言えません。
- ・ 業種や、やりたいことベースで条件分岐できた方が使いやすいです。
- ・ 悩み別の検索項目（従業員を雇いたい、HPを作りたいなど）対象となる補助金一覧 補助金受給額
- ・ 検索するよりも、補助金自体に詳しく無いので、項目をクリックして進めると良い。
- ・ トップページ時点で、補助金別に支援者が項目で分かれていれば良いのではないかと。
- ・ 自分に該当する補助金がわかるように条件分岐してほしい。
- ・ 検索の前にざっくりとしたボタンナビ的なUIが必要かと思いました。

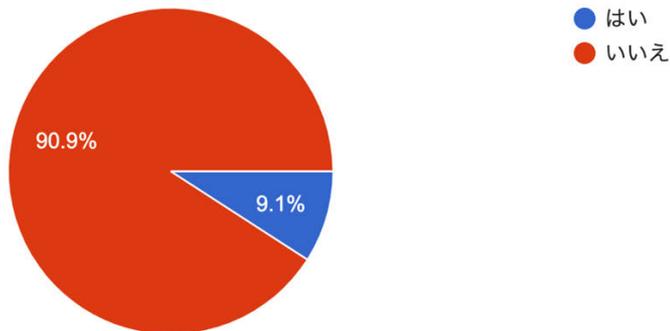
## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名 （事業者と支援者のUI/UX検証）

Q8: 現在、本サービスはプロトタイプ版ですが、公開されたら使いたいと思いますか？

11件の回答



## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

Q9：Q8の理由をおしえてください。

- ・全国各地にどんな支援者がいるか知りたいが登録数が少ない状況では、何か明確なメリットがない限りポータルサイトを使わない。
- ・そもそも補助金について全くわからない人は検索バーすら使えない。専門家の数が表示されていない。UIが練られていない。
- ・ナビゲーションが、どう進めていけばわからない。観覧はするかもしれませんが、ここで何をしたら良いかわからない。
- ・検索後の専門家の強みが分かりにくいいため、ユーザーにとっては判断しにくい。
- ・自分の課題解決ができないから。支援者に大きな差別化が発生しなさそうに感じてしまう。
- ・登録されている業者の信憑性を図るポイントがないので、結局誰に頼めばいいのか？となる。
- ・最終的に補助金概要を把握して知人の補助金サポート業者に話を聞きに行こうと思いました。
- ・補助金等に詳しい状態を前提にした場合、その場合にはGoogleなどで検索をかけると思います。
- ・さらに、登録支援者の方がどんな方なのか、その企業が信頼できるかどうかの判断基準がイメージできませんでした。

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ユーザーに仮gBizIDを発行しダミーデータでプロトタイプのUI/UX検証実施

ダミーデータでミラサポコネクトに関する調査では、深いニーズの考察やUI/UXの検証までには至らなかった  
集計対象アンケート回答数:11名（事業者と支援者のUI/UX検証）

Q10：このような「支援者は事業者を探す。事業者は支援者を探す」「支援者は支援者を探す」をネットで行える実証検証に関して何かあればご意見ください。

- ・ 補助金名を純粹想起できる方は少ないので、補助金のメリットから誘導できたら良いかと思いました。
- ・ 方向は良いですが、もうちょっとUIを改善して使い勝手の良いサイトにすればよいと思います。
- ・ 流入の前提条件など、ヒアリングのケーススタディーがあると答えやすいなと思いました。
- ・ 今回の検証会により自分の意見や他の方の意見のすり合わせができてとても面白かったです。
- ・ 一定の割合で活用する人はいると思うのですが、私の場合は元々の繋がりがある方に相談してしまいます。
- ・ こちらから、何のツールを使って補助金情報を得ているかのアンケート調査を行う
- ・ 本サイトを長く継続して成功事例が掲載できるようになるとサイトの信頼性向上に繋がり良いかと思います

## 2) プロトタイプ構築後のニーズ調査検証

### 7. ミラサポコネクトプロトタイプのUI/UX検証からのレポート

- ・ダミーデータでの利用検証ということもあり、完成度の低い状態での検証はあまり意味がないのでは
- ・行政のサイトという感じで、サイトに入った瞬間から難しそうだなと感じてしまう。
- ・取り組みは良いと思いますので、より良いサイトになることを期待しております。
- ・支援者の質を担保する試験など、必ず民間にはできない手法があると思います。それが絶対的な差別化だと思います。
- ・支援者を判断するだけの要素が少ないと感じたため、より定性的な情報が記載できるようにした方がよいと感じました。
- ・支援者・事業者ともに、補助金に対する期待値が高い人が多いことは他のニーズ調査からもわかるが、その期待値に反して何の課題を目的に何の解決ができるのか、サイトの構成や導線がわかりづらく利用者の絞りこみが必要。
- ・現状このサイトに訪れた人の前提によって課題や検索内容が変わる利用者視点で作り込みが浅い。
- ・偶然にこのサイトに来る人はいないだろうし、いきなり検索といわれても何もできないという指摘から、例えば事業者として自社の情報を登録したら（設立年、従業員数、売上など）勝手に補助金をサジェストしてくれたり、その申請に対しての実績は、採択された提案書のチラ見せとか関わった支援者が紐付いているなどの作り込みが必要になると感じました。